

SHARP®

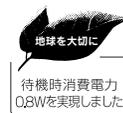
AUVi 1-BIT DIGITAL THEATER
ΔΣ 1-BIT TECHNOLOGY

DVD 1 ビットデジタルシアターシステム

エス ディー エー ティー
形名 **SD-AT100**

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読み
ください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができ
るところに必ず保存してください。



1bit
Technology



DOLBY
DIGITAL
PRO LOGIC II

DIGITAL
dts
SURROUND

DVD
VIDEO™

COMPACT
disc
DIGITAL VIDEO

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
Recordable

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
ReWritable

1章 はじめに

	ページ
安全に正しくお使いいただくために	4
おもな特長	8
付属品について	9
ディスクについて	10

2章 準備 (お使いの前に)

	ページ
スピーカーを接続する	12
テレビを接続する	14
システムを設置する	16
リモコンの使いかた	18
電源を入れる	19
時計を合わせる	20
テレビ画面サイズを設定する	21

3章 基本 (すぐに楽しむ)

	ページ
ディスクを再生する	22
・再生の停止	23
・再生の一時停止	23
・音量の調整	23
・低音の調整	23

4章 活用 (よく使う操作/便利な操作/いろいろな設定)

よく使う操作

・チャプター (トラック) の頭出しをする (スキップ)	24
・早送り/早戻しをする (サーチ)	24
・スローモーションで見る (スロー再生)	25
・静止画/コマ送りで見ると (静止画再生/コマ送り再生)	25
・好きなところから再生する (ダイレクト再生)	26
・停止した位置から続けて再生する (つづき再生)	27

便利な操作

・好きな順に再生する (プログラム再生)	28
・順不同で再生する (ランダム再生)	30
・くり返して再生する (リピート再生)	30
・指定した位置間をくり返して再生する (A-Bリピート再生)	31
・ディスクのトップメニューからタイトルを選ぶ	31

いろいろな設定

・字幕言語を変更する	32
・字幕を消す	32
・音声言語を変更する	33
・アングルを変更する	33
・画像を明るくする	34
・画質を鮮明にする	34
・画像を拡大表示する (ズーム)	35
・テレビ画面の表示を切り換える	36
・本体表示部の表示内容を切り換える	36
・動作表示の種類	37
・PBC (プレイバックコントロール) 対応のビデオ CD を再生するには	37
・再生設定画面から設定を変更する	38
・ディスクのメニューから設定する	39

5章 応用（その他の操作）

	ページ
ひろがりのある音を楽しむ（サウンドモード）	40
スピーカーの設定について	44
タイマーを使う	48
スリープを使う	50
他の機器を接続する	52
他の機器を操作する	56
リモコンの登録内容を変える	58
DVDの初期設定を変える	60

6章 参考

	ページ
各部のなまえ	66
ディスクの取り扱いについて	72
エラーメッセージについて	73
“故障かな？”と思ったら	74
お手入れについて	77
著作権について	77
仕様について	78
別売品について	79
用語の解説	80
保証とアフターサービス	82
お客様ご相談窓口のご案内	83

本機で再生できるディスク**本機で再生できないディスク**

- ・リージョン番号の「2」または「ALL」が含まれていないDVD
- ・PAL方式のDVD
- ・SECAM方式のDVD
- ・MPEG音声のDVD
- ・DVD-ROM
- ・DVD-RAM
- ・DVD-Audio
- ・CDG
- ・フォトCD
- ・CD-ROM
- ・SACD
- ・業務用など、特殊なフォーマットで記録されているディスク など

（くわしくは、10ページをごらんください。）

本書で使用している表示記号

ディスクによって、使用できる機能が異なります。下記の記号は、説明箇所に使用できるディスクを表しています。

DVD ... DVDを表しています。

VCD ... ビデオCDを表しています。

CD ... 音楽CDを表しています。

- ・本書で説明している操作でも、ディスクによっては操作できないものがあります。
- ・操作中、テレビ画面に「」マークが表示されることがあります。これは、本書に記載されている操作をディスク側で禁止していることを表しています。

安全に正しくお使いいただくために

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

1 章
はじめに

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	けがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

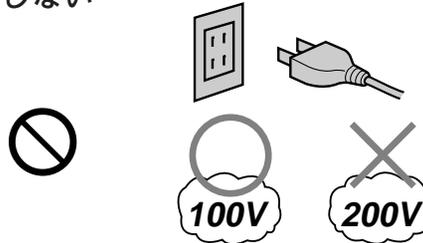
図記号の意味

	この記号は 気をつける必要がある ことを表しています。
     	この記号は してはいけない ことを表しています。
 	この記号は しなければならない ことを表しています。

警告

電源について

AC100V 以外の電源電圧では使用しない



火災・感電の原因となります。

外国では使用しない

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。
(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)



雷について

雷が鳴りだしたら…

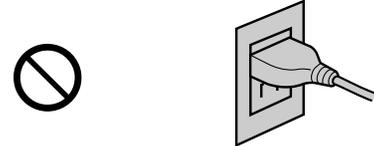
安全のため、製品にさわらないでください。



感電の原因となります。

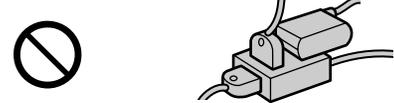
電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しない



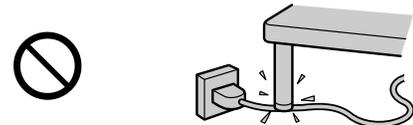
火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない



発熱により、火災の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない



電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたときは…

販売店に交換をご依頼ください

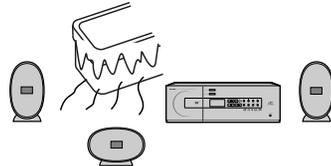


そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

警告

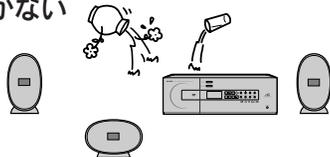
内部に物や水などを入れない

風呂場や雨にあたる場所、湿気の多いところでは使用しない



火災・感電の原因となります。

近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない



こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

開口部（ディスク挿入口やスピーカーダクトなど）から金属類や燃えやすい物などを入れない



火災・感電・けがの原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

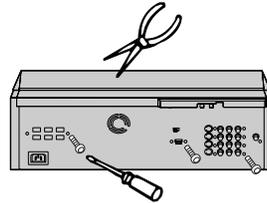
内部に水や異物などが入ったときは…
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

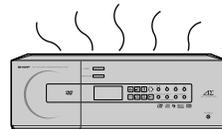
キャビネットを開けたり、改造しない



火災・感電・けがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高温部への接触について

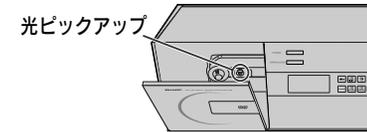
使用中は、内部から発生する熱により、本体表面が熱くなります。



長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
また、長時間使用するときは、放熱に注意してください。（P.17）

光ピックアップについて

光ピックアップの光源を直視しない



目を痛める原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音が生じたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください



異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために（続き）

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

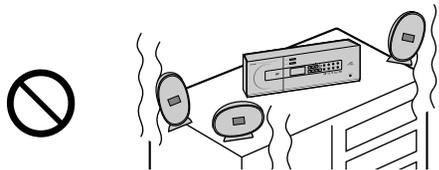
1 章
はじめに

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 注意

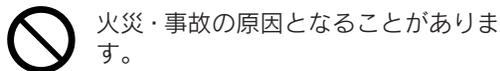
置き場所について

不安定な場所に置かない



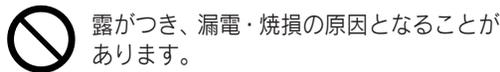
落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない



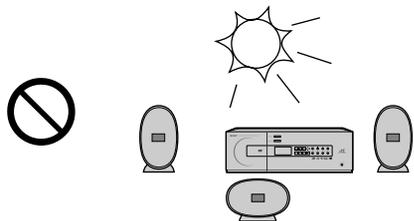
火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつけるところや、極端に寒い場所に置かない



露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない



火災・事故の原因となることがあります。

電源コードの取り扱いについて

プラグを抜くときはコードを引っばらない



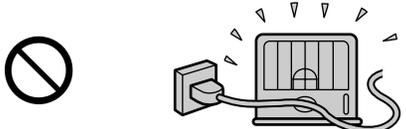
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない



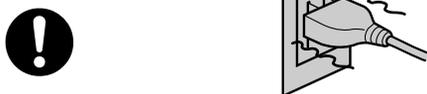
感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

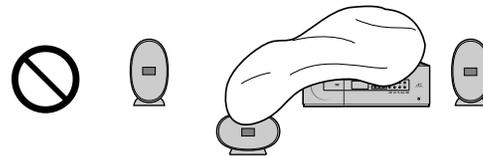
コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止してください



火災・感電の原因となることがあります。

ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない
また、布や布団でおおったり、つつんだりしない



熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

製品の上に乗らない



踏み台や腰かけの代わりに使わないでください。倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

ヘッドホンで聞くときは

音量の設定に十分気をつける



思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

移動するときは

電源を切り、電源コード・接続コードを抜いてください



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

ディスクドアについて

ディスクドアが開閉中は、指などははさまないように注意してください。



特殊な CD について

特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは使用しないでください。



高速回転によりディスクが飛び出し、けがをすることがあります。

機器の接続について

他の機器を接続するときは、指定のコードをお使いください。



テレビなど



本体

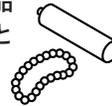
接続するときは、必ず電源を切り、他の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

また、付属のコードや指定以外のコードを使用すると、故障の原因となります。

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

- ・新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しない
- ・金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）と、いっしょにポケットやかばんなどに入れない
- ・水に濡らさない
- ・加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない
- ・分解しない
- ・ハンダ付けしない
- ・端子をショート（短絡）させない
- ・種類のちがう乾電池を混ぜて使用しない
- ・充電電池（ニカド電池等）は使用しない



- ・乾電池が使いえなくなったり、長い間使わないときは、乾電池を全部取り出しておいてください。



- ・乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを、表示どおり正しく入れてください。

もし、液がもれた場合は、リモコンについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください



感電やけがの原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください



壁掛け等で使うときは



壁掛け等で使うときの部材（壁掛けブラケットやスタンド）は、必ず指定のものを使ってください。（P.79）強度が足りないと落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

- ・この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（P.83）

- ・お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

おもな特長

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

1 章
はじめに

おもな
特長

高解像度サウンドを実現する

1ビットデジタルアンプを搭載！

1秒間に約280万回(約2.8MHz)という高速サンプリング(CDの約64倍に相当するサンプリング)で1ビット信号を増幅することにより、高品位なサウンドを実現します。

.....
高性能アンプとDVDプレーヤーの一体化で

本格的ホームシアターシステムを実現！

高性能な1ビットデジタルアンプとDVDプレーヤーの一体化で歯切れの良い臨場感あふれるサウンドを楽しめます。

.....
いろいろなサラウンド方式を再現する

各種デコーダーを搭載！

5.1chのサラウンドを高音質で楽しめる、ドルビーデジタル、DTS方式や、BSデジタル放送のAAC方式を再現する、各種デコーダーを搭載しています。さらに、地上波放送やビデオテープなどの2chステレオ音声を5.1chサラウンドに変換する、ドルビープロロジックIIデコーダーも搭載しています。

薄型コンパクトなニュースタイルで

インテリアを演出！

薄型コンパクトなデザインで、スリムな液晶テレビにもマッチするニュースタイルを実現しています。

.....
歯切れの良い迫力サウンドで

リビングが劇場に変身!!

小型ながら高性能なスピーカーを採用し、スピード感ある迫力サウンドを再現します。

.....
ダブルフェイス(両面操作)の

多機能リモコン

多機能リモコンで、本体以外にテレビやビデオのコントロールもできます。

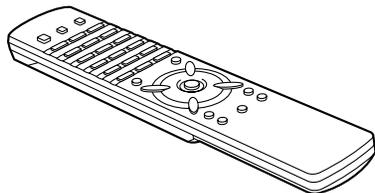
付属品について

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

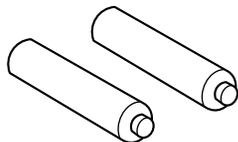
1 章
はじめに

付属品について

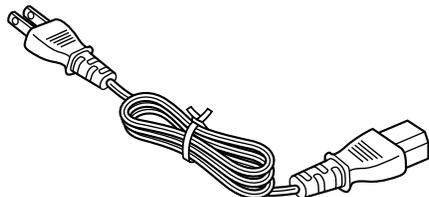
付属品がすべてそろっているか、お確かめください。



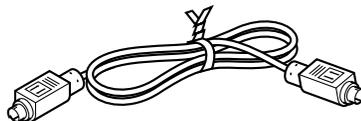
リモコン×1



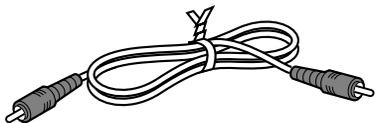
単4形乾電池×2 (リモコン用)



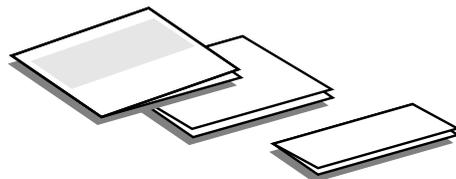
電源コード×1



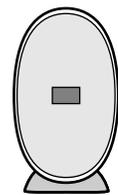
S映像コード×1



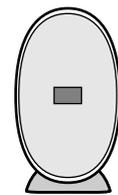
映像コード×1



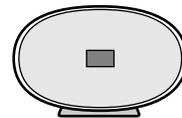
取扱説明書 (本書) ×1
スピーカー・テレビの接続と配置図×1
保証書×1



フロント
スピーカー「左」



フロント
スピーカー「右」



センター
スピーカー



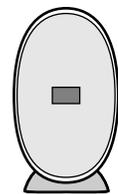
(約5m)
白色



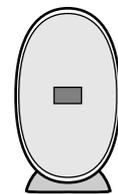
(約5m)
赤色



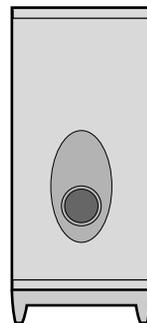
(約5m)
緑色



サラウンド
スピーカー「左」



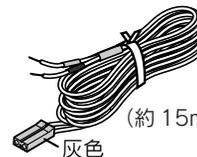
サラウンド
スピーカー「右」



サブウーハー



(約15m)
青色



(約15m)
灰色



(約5m)
紫色

スピーカー/スピーカー接続コード×6

カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。
色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

ディスクについて

1 章
はじめに

ディスクについて

■ 再生できるディスクについて

次のディスクを再生することができます。

ディスクの種類	ディスクの内容	ディスクの大きさ
NTSC方式のDVD  またはビデオモードで記録されたDVD-R/DVD-RW (※1)	音声 + 映像 (動画)	12cm
		8cm
NTSC方式のビデオCD  	音声 + 映像 (動画)	12cm
		8cm
音楽CD  またはCDV (※2)	音声	12cm
		8cm
音楽形式のCD-R/CD-RW (※3)   またはMP3フォーマットで記録されたCD-R/CD-RW (※4)	音声	12cm
		8cm

(※1) DVD-R/DVD-RWは、ディスクの特性、キズ、汚れ、または光ピックアップの汚れなどにより、再生できないことがあります。

(※2) CDVは、オーディオパートのみ再生できます。

(※3) CD-R/CD-RWは、記録した機器やディスクの状態により、正しく再生できないことがあります。

(※4) MP3フォーマットは、MPEG 1 Audio Layer3(44.1kHz または 48kHz)のファイルのみ再生可能です。

また、ディスクの状態やフォーマットの特性により再生できないことがあります。

■ 再生できないディスクについて

次のディスクは再生できません。

- ・リージョン番号の「2」または「ALL」が含まれていないDVD (くわしくは P.11)
- ・PAL方式のDVD
- ・SECAM方式のDVD
- ・MPEG音声のDVD
- ・DVD-ROM
- ・DVD-RAM
- ・DVD-Audio
- ・CDG
- ・フォトCD
- ・CD-ROM
- ・SACD
- ・業務用 など、特殊なフォーマットで記録されているディスク など

- ・上記のものは、全く再生できないか、映像が出ても音が出ない、音が出ても映像が出ないことがあります。
- ・誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損したり、ヘッドホン使用時は聴力障害の原因となることがあります。絶対に再生しないでください。
- ・本機はNTSC方式に適合した機器です。海外で製造されたディスクには再生できないものがあります。ご購入の際は、記録方式を確認してください。
- ・正式な販売地域以外のディスクなど、規格を満たさないものがあります。そのようなディスクは再生できません。

お知らせ

- ・キズや指紋のついたディスクは再生できないことがあります。「ディスクの取り扱いについて」(P.72)をごらんになり、ディスクを清掃してください。
- ・特殊形状(ハート型や八角形など)のディスクは使用しないでください。高速回転によりディスクが飛び出し、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

■ DVD に表示されているマークについて

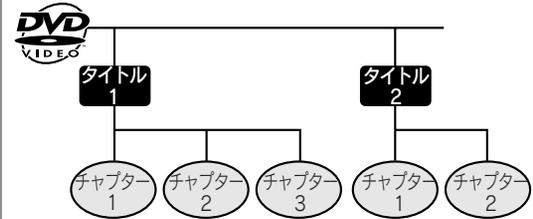
DVD のケースに記載されている機能マークを確認のうえお楽しみください。

表示例	内 容
リージョン番号 (再生可能地域番号) 	DVDは、販売される国により、再生できるディスクが決められています。その再生できるディスクの番号を、リージョン番号といいます。 本機で再生できるのは「2」(または「2」を含むもの)と「ALL」の表示があるディスクです。
DVD に記録されている画面サイズ <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">4:3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">16:9 LB</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">16:9 PS</div> </div>	接続するテレビの種類「ワイドテレビ」や「4:3のテレビ」に応じた画面サイズが選べます。 4:3の画面サイズで記録されています。 ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビではレターボックスサイズ画像を楽しむように記録されています。 ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビでは左右をカットした4:3の画像を楽しむように記録されています。
字幕の種類  (例) 1: 日本語字幕 2: 英語字幕	記録されている字幕言語を表しています。 字幕ボタンで好みの字幕が選べます。
アングル数 	DVD に記録されているアングル数が表示されています。 アングルボタンで好みのアングルが選べます。
音声トラック数や音声記録方式  (例) 1: オリジナル<英語> (DTS 5.1 サラウンド) 2: 日本語 (ドルビーデジタル5.1 サラウンド)	音声のトラック数や音声の記録方式を表しています。 ・DVDに記録されている音声を音声ボタンで切り換えることができます。 ・記録されている音声や音声の記録方式は、DVDによって異なります。DVDの取扱説明書で確認してください。

● タイトル・チャプターについて

DVDは、「タイトル」と「チャプター」に区切り、構成されています。

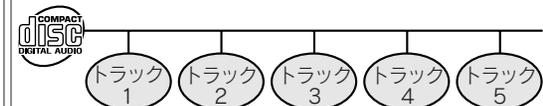
タイトルとは、例えば複数の映画が入っているディスクで各映画ごとをさします。チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。



● トラックについて

ビデオCD・音楽CDは、「トラック」に区切り、構成されています。

トラックとは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。



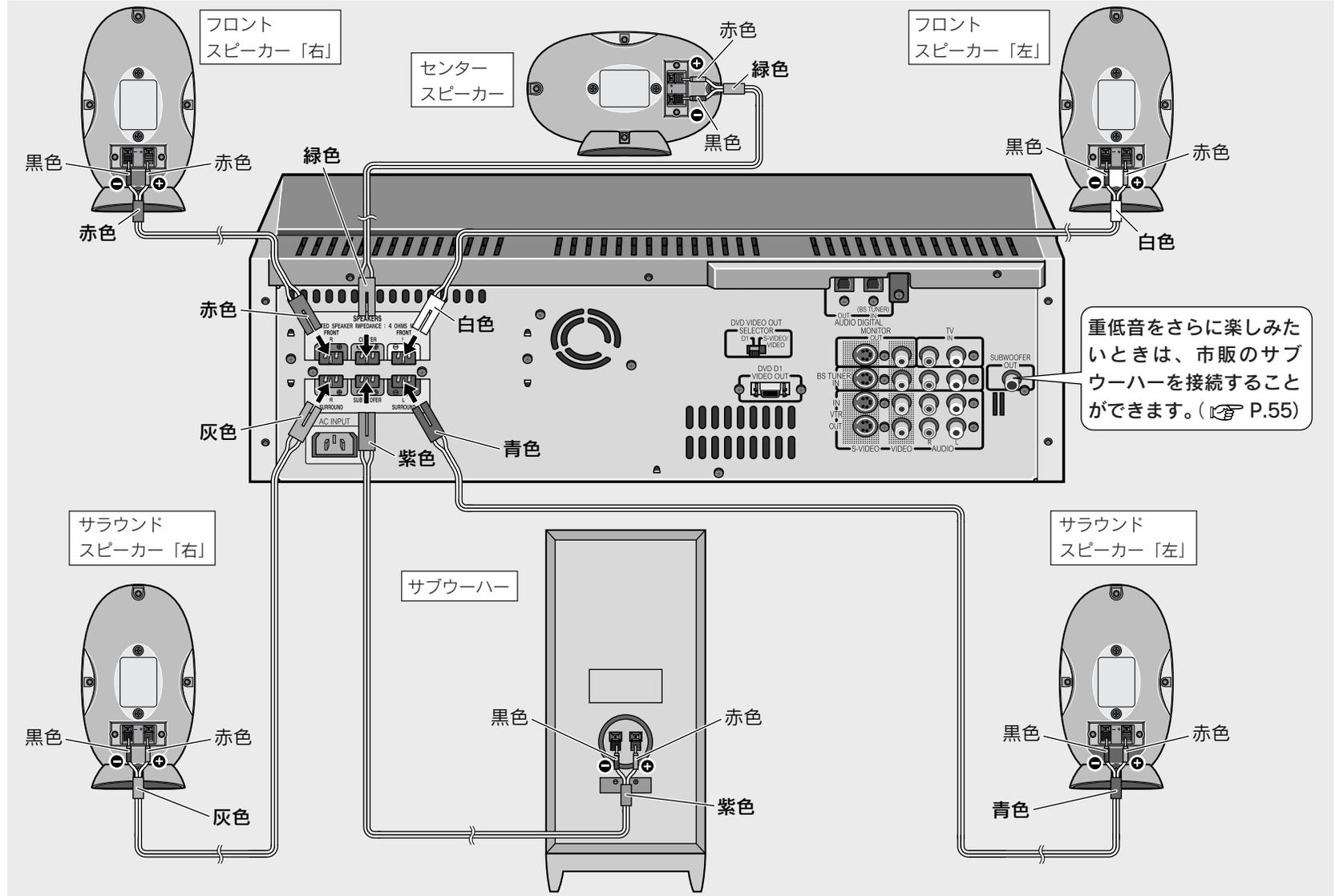
お知らせ.....
 ディスクによっては、タイトル・チャプター・トラックの番号が記録されていないものがあります。

スピーカーを接続する

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

2章 準備

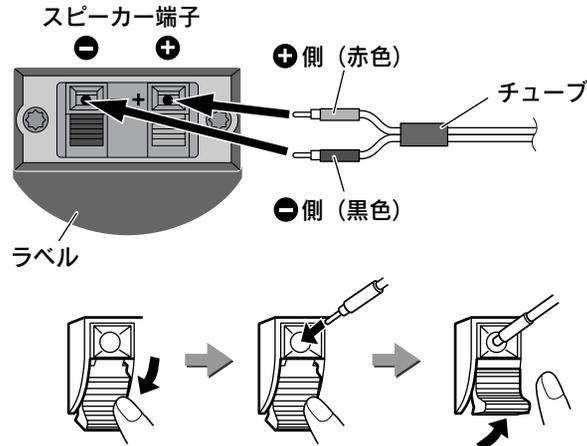
スピーカーを接続する



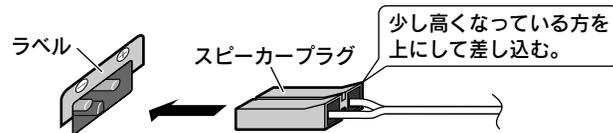
■ スピーカーのつなぎかた

本体のスピーカー端子、スピーカーコードのチューブとプラグ、スピーカーのラベルはそれぞれ色分けをしています。同じ色どうして本体とスピーカーを接続します。スピーカー側を先に接続し、そのあと本体側を接続してください。

スピーカー側

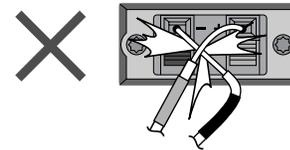


本体側



ご注意

- ・スピーカーの接続は、必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- ・スピーカープラグには上下の方向があります。まちがえないように差し込んでください。また、プラグは最後まで確実に差し込んでください。
- ・スピーカープラグを本体から外すときは、プラグを持って抜いてください。コードを持って抜くと故障の原因となります。
- ・スピーカーコードの⊕（プラス）と⊖（マイナス）、左右をまちがえないように接続してください。（右スピーカーは本機の正面に向かって右側に置きます。）
- ・スピーカーコードをショートさせないでください。電源が入っているときに、誤ってスピーカーコードをショートさせてしまうと、保護回路が働いて電源が切れます。このときは、スピーカーコードが正しく接続されていることを確かめたあと、再び電源を入れてください。



- ・本機には必ず付属のスピーカーを使用してください。
- ・スピーカーの上に座ったり、立ったりしないでください。けがの原因となることがあります。

2章 準備

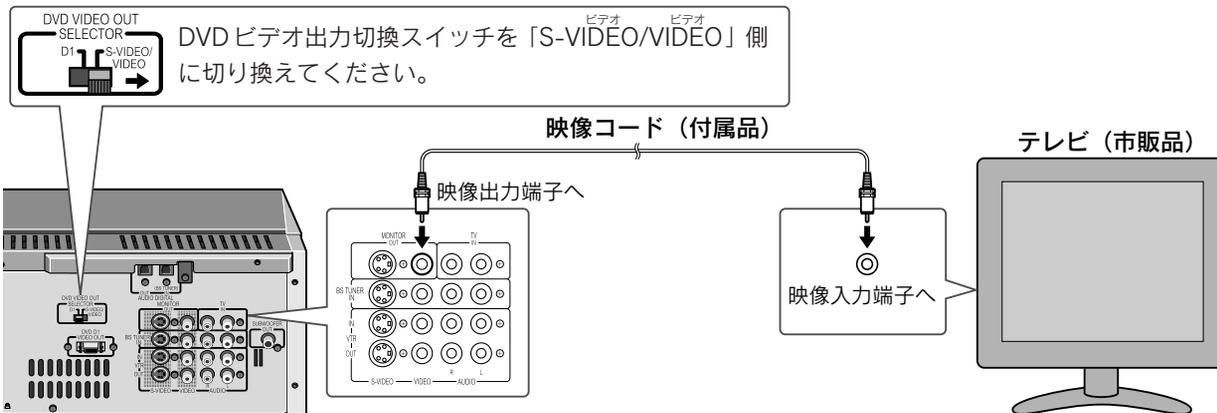
スピーカーを接続する

テレビを接続する

テレビをつなぐには、映像端子またはS映像端子、D1端子につなぐ3種類の方法があります。
お使いになっているテレビに合わせて接続してください。

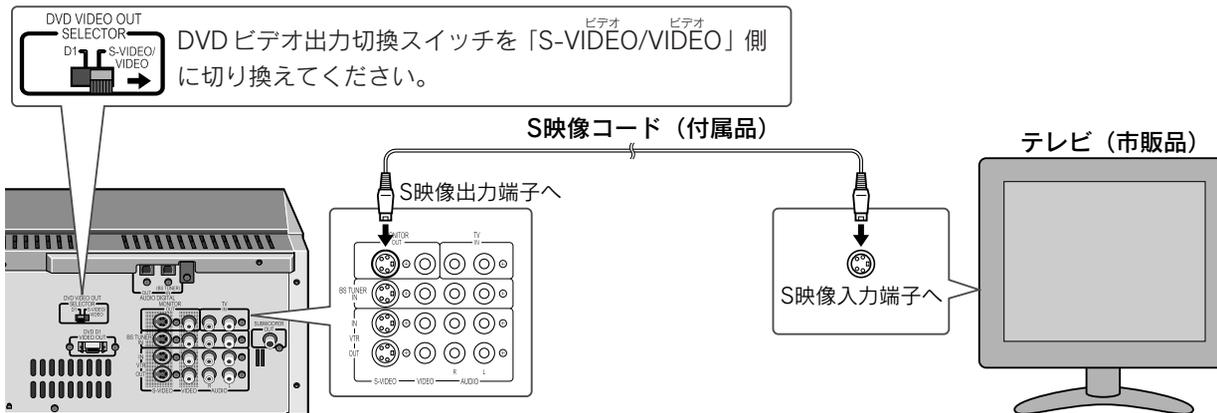
■映像入力端子付テレビにつなぐとき

お使いになっているテレビと本機を、映像コードで接続すると映像を楽しむことができます。



■S映像入力端子付テレビにつなぐとき

テレビにS映像入力端子があるときは、S映像コードで接続すると、よりきれいな映像を楽しむことができます。



ご注意

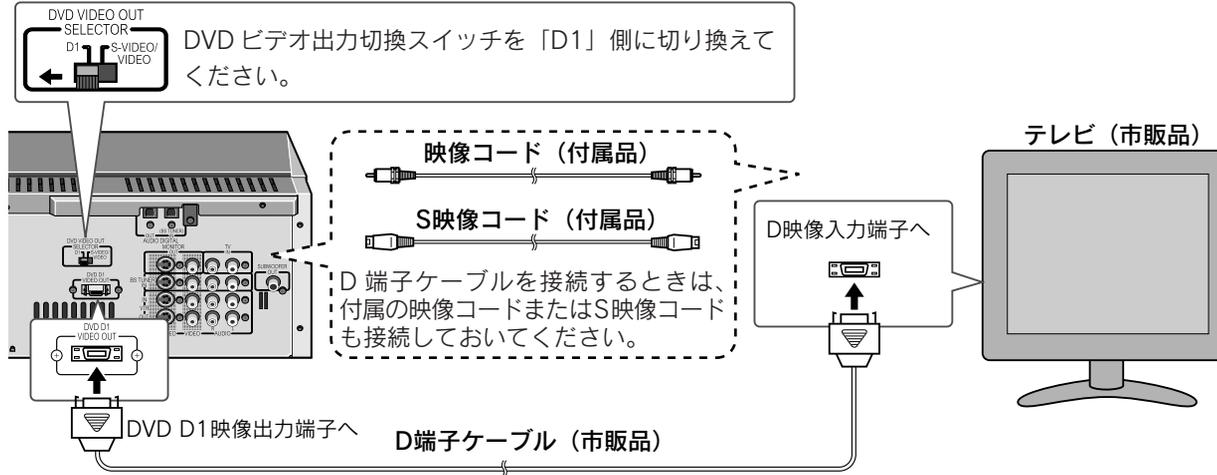
- テレビを接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行ってください。
- 映像コードとS映像コードを同時に接続すると通常のテレビではS映像端子が優先されます。

お知らせ

- テレビ側の入力は、接続した端子に合わせて切り換えてください。
- 本機とテレビの間には、他の機器を接続しないでください。ビデオなどを経由して接続すると、画像が乱れることがあります。

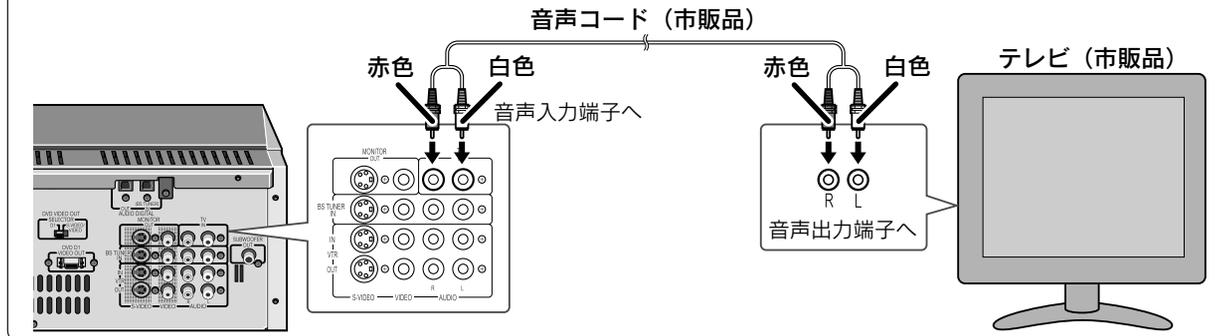
■ D 映像入力端子付テレビにつなぐとき (DVD のみ)

テレビに D 映像入力端子があるときは、D 端子ケーブルで接続すると、DVD の画像をよりきれいに楽しむことができます。(D 端子ケーブルは付属されていません。市販品をお買い求めください。)



テレビの音声をこの製品のスピーカーで聞くには

音声コードを接続すると、テレビの音声をこの製品のスピーカーで聞くことができます。(音声コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。)



ご注意.....
テレビを接続するときは、それぞれの機器の電源を切った状態で行ってください。

お知らせ.....
• テレビにより、D 映像入力端子の表示が異なることがあります。本機は、D1/D2/D3/D4 映像入力端子に接続できますが、機能の一部が制限されることがあります。くわしくはテレビの取扱説明書をごらんください。
• DVD D1 映像出力端子では DVD の映像しか見ることができません。DVD 以外の映像は、DVD ビデオ出力切換スイッチの位置には関係なく、S映像出力または映像出力で見ることができます。

お知らせ.....
テレビ音声の聞きかたは、56ページをごらんください。

2 章 準備

テレビを接続する

システムを設置する

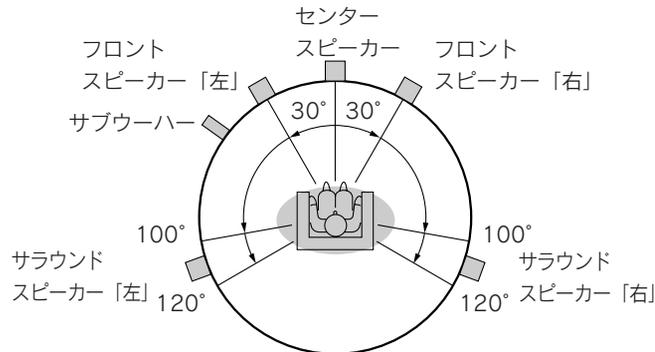
DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

2章 準備

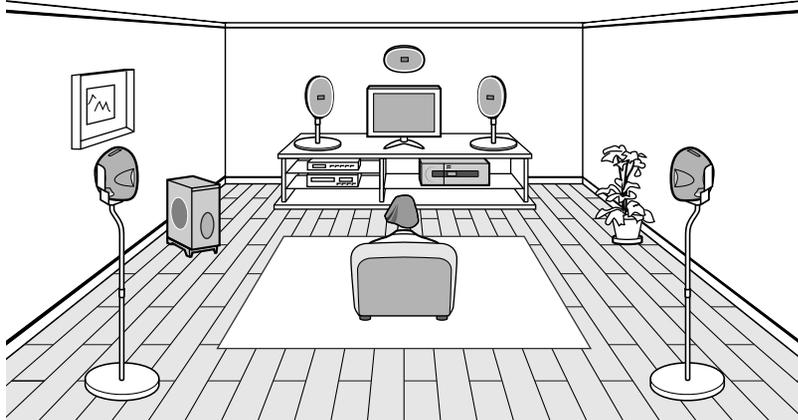
システムを設置する

■ スピーカーを配置する

サラウンド効果を十分に引き出すために、各スピーカーはお聞きになる位置からなるべく等距離に配置してください。また、図のような角度に配置することをおすすめします。



下のイラストは、別売のスピーカースタンドや壁掛け用ブラケット (P.79) を使用した例です。取り付けかたは、それぞれの取扱説明書をごらんください。

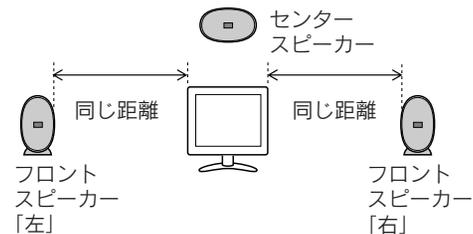


お知らせ

- ・お部屋の状況により、各スピーカーを等距離に配置できないときは、「スピーカーディレイの設定」をごらんください。(P.45)
- ・スピーカーネットは取り外しができません。

フロントスピーカー・センタースピーカー

フロントスピーカーは、テレビを中心として左右に配置してください。
センタースピーカーは、テレビの近くに置くことをおすすめします。



フロントスピーカーとセンタースピーカーは防磁対応されていますので、テレビの前や横に置くことができます。しかし、使うテレビによってはテレビ画面に色ムラが生じることがあります。

テレビ画面に色ムラがおきたら…

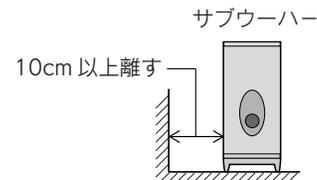
いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。それでも色ムラが残るときは、スピーカーをさらにテレビから離してください。(くわしくは、テレビの取扱説明書をごらんください。)

サラウンドスピーカー

耳の高さよりやや高い位置に配置してください。

サブウーハー

振動しにくいしっかりした床に配置し、左側の面は10cm以上離してください。

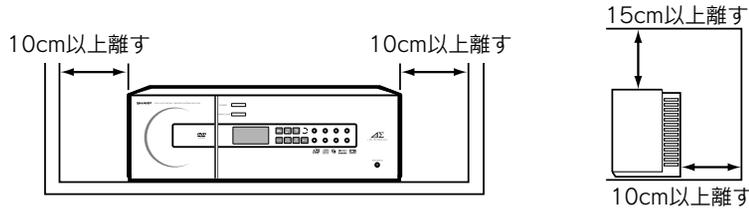


ご注意

サラウンドスピーカーやサブウーハーは防磁ではありませんので、テレビに近づけないでください。

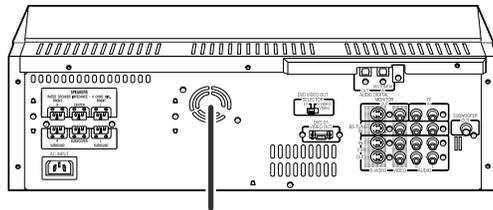
■ 本体を設置する

この製品の天面や背面、側面は熱くなります。放熱をよくするため、システムの間は次のように離して置いてください。



ご注意

本体の背面には、放熱をよくするために空冷ファンを内蔵しています。この空冷ファンは、電源を入れると自動的に回転するようになっています。ファンの部分を物でふさがないように注意してください。



空冷ファン

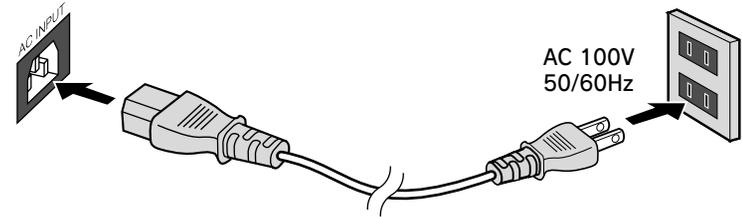
- ・この製品は、5℃～35℃の場所でお使いください。
- ・この製品をパソコン・携帯電話などの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。そのときは、できるだけ離してください。

高温部への接触について

使用中は、内部から発生する熱により、本体表面が熱くなります。長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

■ 電源コードを接続する

電源コードをAC電源端子へ差し込み、家庭用電源コンセントに差し込んでください。



電源の極性管理について

この製品は、電源の極性管理をしています。接続する機器と、この製品の電源極性を合わせることをおすすめします。

- ・極性管理がされている家庭用電源コンセントに接続する場合は、長い溝（アース側）に、この製品の極性表示（アース側）が合うように接続してください。

長い溝（アース側）

▽マークのある側を長い溝（アース側）に接続する。



- ・極性管理されていない電源コンセントに接続する場合は、電源コードのプラグを逆に差し換えてみる、などの方法で音質の良い方を選択してください。

ご注意

- ・付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。故障や事故の原因となります。
- ・電源コードを抜くときは、電源を切ってからプラグを抜いてください。

節電のために

旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。（長時間電源コードを抜いていると、登録した内容は消え、各種の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。）

リモコンの使いかた

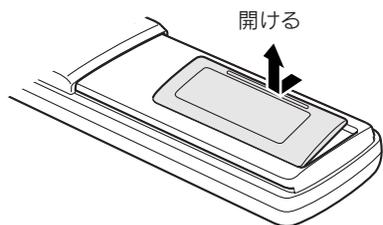
DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

2章 準備

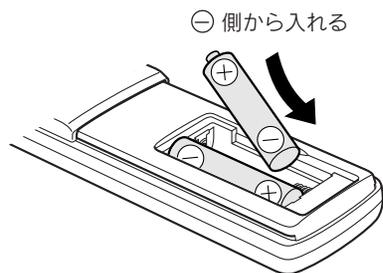
リモコンの 使いかた

■ 乾電池を入れる

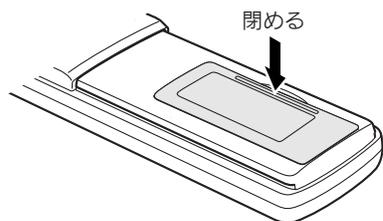
① 電池ブタを開ける。



② 単4形乾電池を2本入れる。



③ 電池ブタを閉める。

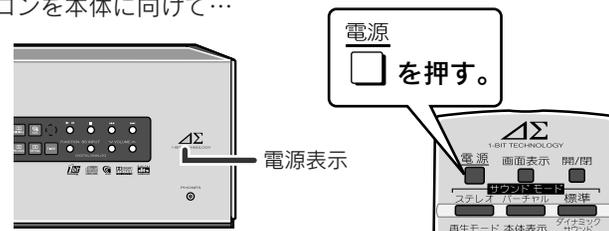


ご注意

- ・乾電池の方向に注意して入れてください。
- ・⊕、⊖をまちがえると、故障の原因となります。
- ・リモコンには充電電池（ニカド電池など）を使用しないでください。充電電池では正しく動作しません。

■ リモコンのテスト

リモコンを本体に向けて…



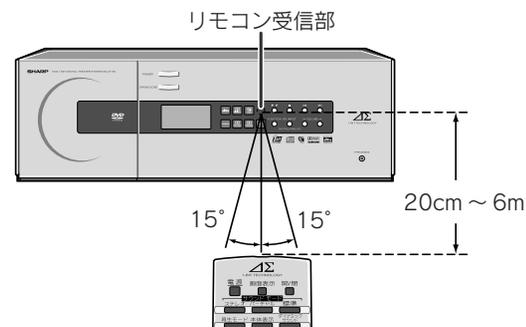
電源表示が点灯します。

電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか、乾電池が正しく入っているか、確認してください。

■ リモコンの使える範囲（目安）

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約1年です。

リモコン受信部に近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。



ご注意

- ・リモコン受信部に強い光があたる場所では使用しないでください。誤動作の原因となります。
- ・リモコン受信部や送信部にシールなどを貼らないでください。リモコンの操作ができなくなることがあります。
- ・本体とリモコンの間には障害物などを置かないでください。リモコンの操作ができなくなることがあります。

電源を入れる

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

■ 電源の入れかた



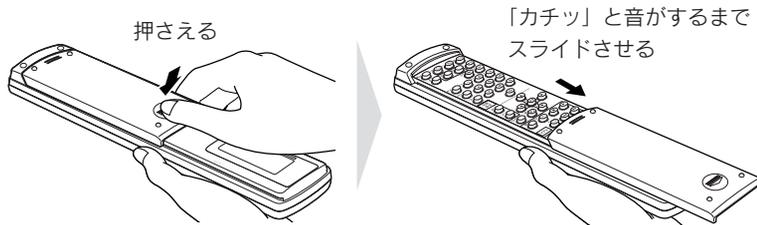
電源表示が点灯します。
電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか確認してください。

2 章
準備

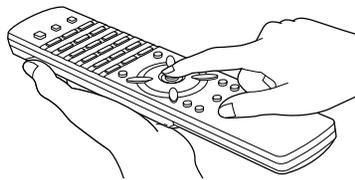
電源を入れる

■ スライドブタの開けかた

このリモコンは、表面と裏面の両方に操作ボタンがついています。
裏面の操作ボタンを使うときは、スライドブタを開けてください。



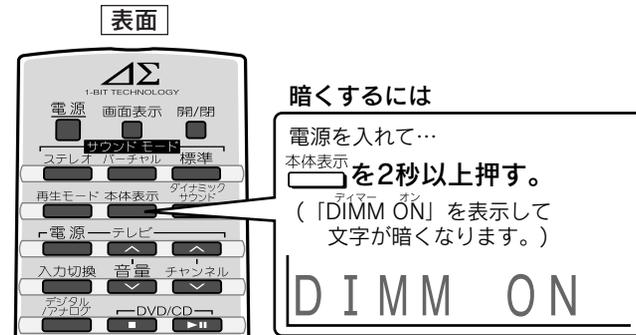
表面 を操作するときは、裏面のスライドブタを閉じておくことをおすすめします。



裏面 を操作するときは、表面にあるボタンを押さないように持ってください。誤動作の原因となります。

お知らせ.....
リモコンでテレビやビデオを操作できます。(P.56 ~ 57)

■ 表示部の明るさを変える



明るくするには
本体表示 [] を2秒以上押す。

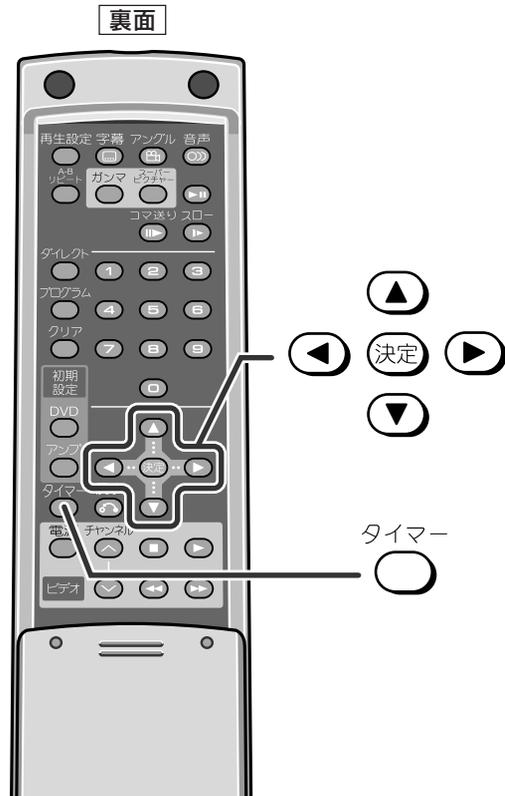
(「DIMM OFF」を表示して文字が明るくなります。)

時計を合わせる

時刻を合わせると、時計としてはもちろん、タイマー再生することができます。

2章 準備

時計を合わせる



例) 午前9時30分に合わせるとき

1 電源 を押す。

2 タイマー を押す。

SLEEP

3 10秒以内に…
◀または▶を押し、
「ADJUST」を選び
決定 を押す。

ADJUST

AM 0:00

4 ▲または▼を押し、
「時」を合わせ 決定 を
押す。

AM 9:00

「時」を合わせる

時刻は12時間制で表示されます。
午前 (AM) / 午後 (PM) の表示に注意してください。
AM 0:00 → 夜の12時 PM 0:00 → 昼の12時

5 ▲または▼を押し、
「分」を合わせ 決定 を
押す。

AM 9:30

「分」を合わせる

時計が動作し始めます。
決定 を押すと、時計表示は消えます。

時刻を修正するには

操作1からやり直してください。

- ・操作2では「タイマーTIMER スタンバイSTANDBY」と表示されます。
- ・操作3で◀または▶を押し、「クロックCLOCK」を選び決定を押します。
- ・操作4と5は同じ手順です。

時刻を確認するには

電源が「オフOFF」のときに…
リモコン(表面)の を押す。
時刻が表示されて、約5秒たつと消えます。

- 電源が「オンON」のときに…
1. を押す。
 2. 10秒以内に…
◀または▶を押し、「クロックCLOCK」を選ぶ。
約10秒間表示し、もとの表示に戻ります。

ご注意.....
電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、時計の設定は消えてしまいます。
時計を合わせ直してください。

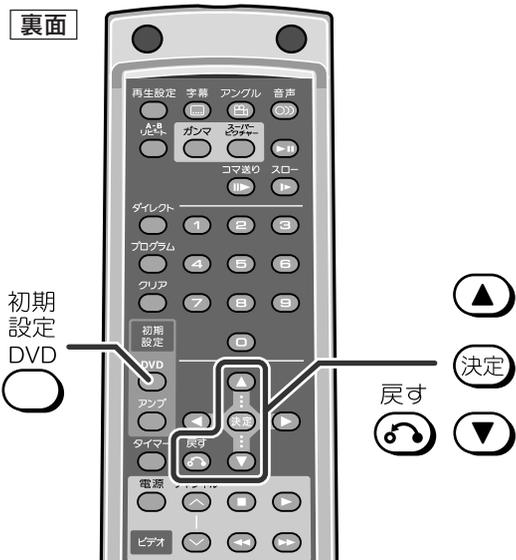
テレビ画面サイズを設定する

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

お買いあげ時は、[4:3]のテレビ（ワイドテレビではないテレビ）の画面サイズになっています。ご使用のテレビがワイドテレビのときは、画面サイズの設定をしてください。

[4:3]のテレビを接続したときは、この設定は不要です。

テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力切換を「ビデオ1・ビデオ2」などに設定してください。



1 電源 を押す。
スタートアップ画面が表示されます。

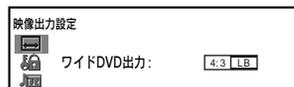


2 初期設定 を押す。
初期設定画面が表示されます。

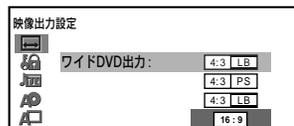


3 を押す。
・画面表示言語は日本語になります。
・他の言語を選ぶには「DVDの初期設定を変える」をごらんください。
(P.60)

4 または を押して、 (映像出力設定) を選び を押す。



5 または を押して、 [16:9] を選び を押す。



[16:9] に設定されます。
設定の変更中に を押すと、一つ前の画面に戻ります。

6 初期設定 を押す。
スタートアップ画面に戻ります。

2 章 準備

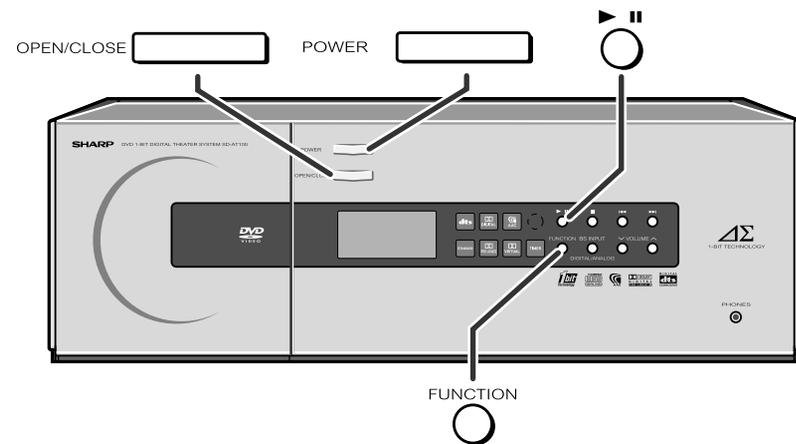
テレビ画面サイズを設定する

ディスクを再生する

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

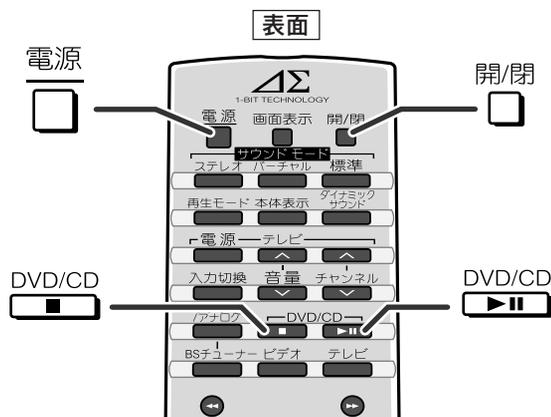
DVD VCD CD

テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力切換を「ビデオ1・ビデオ2」などに設定してください。



3章 基本

ディスクを再生する



お知らせ
電源を入れたときや、他の入力から「DVD」に切り換えたときは、本体がDVDの初期設定を行っていますので、約5秒間は操作を受け付けません。

1

POWER を押す。
スタートアップ画面が表示されます。

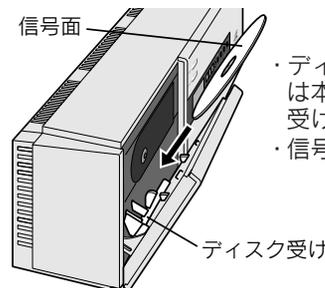


2

FUNCTION を押して、入力を「DVD」にする。
・ビデオCDや音楽CDを再生するときも「DVD」を選びます。
・リモコンの を押しても入力は「DVD」になります。

3

OPEN/CLOSE を押して、ディスクドアを開け
ディスクを入れる。



・ディスクの大きさ（12cmまたは8cm）は本体が自動的に判断します。ディスク受けに確実に置いてください。
・信号面を本体側に向けて置きます。

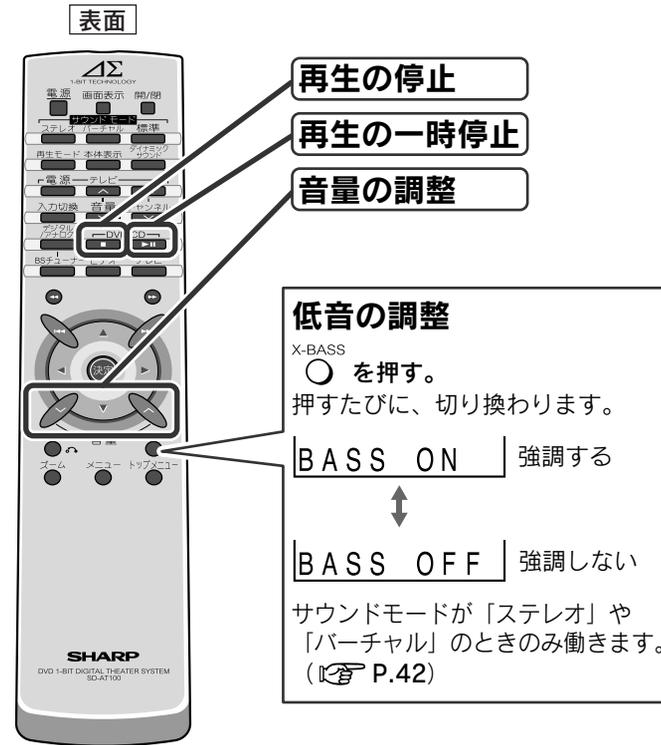
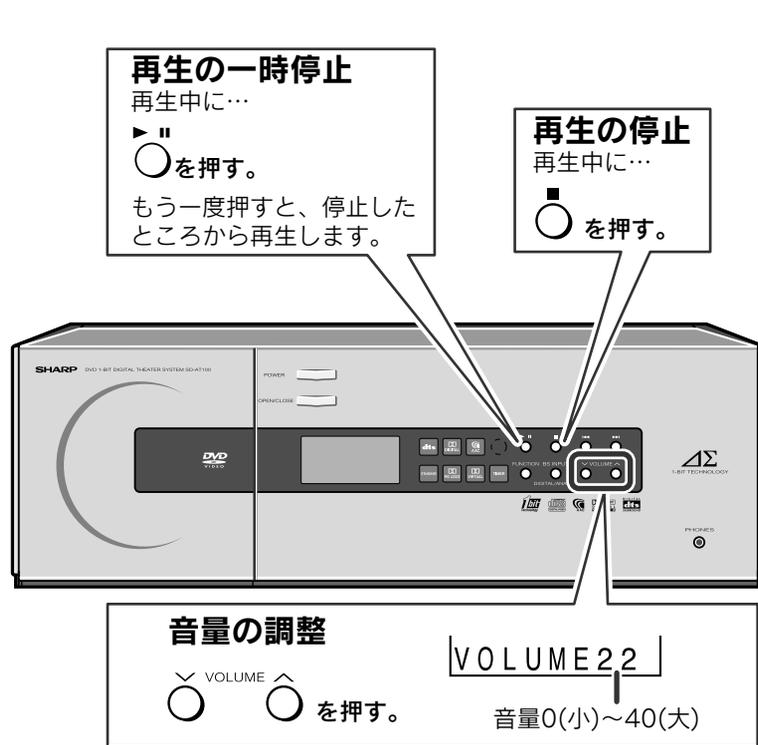
もう一度 OPEN/CLOSE を押すと、ディスクドアが閉まります。
(オートプレイのディスクを入れたときは、再生が始まります。)

4

操作3で再生が始まらないときは…

を押す。

PBC(プレイバックコントロール)対応のビデオCDを再生するには、37ページをごらんください。



ご注意

- ・ディスク交換時以外はディスクドアを閉じておいてください。内部にホコリが入り故障の原因となります。
- ・長時間使用すると、本体が熱くなりますが、故障ではありません。
- ・ディスクにキズがあったり、再生できないディスクを入れたときは「このディスクは再生できません」のメッセージが、リージョン番号の違うディスクを再生しようとしたときは「地域番号が違います」のメッセージがテレビ画面に表示されます。
- ・ディスクドアが閉まるときに、指をはさまないように注意してください。

お知らせ

- ・特殊なディスクを再生したとき音量を上げすぎると、保護回路が働き、電源が切れることがあります。このようなときは、音量を下げてください。
- ・ディスクによっては、停止位置が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、記録されている位置で自動的に停止します。
- ・操作中、テレビ画面に「Ⓞ」マークが表示されることがあります。これは、ディスク側で操作を禁止していることを表します。

よく使う操作

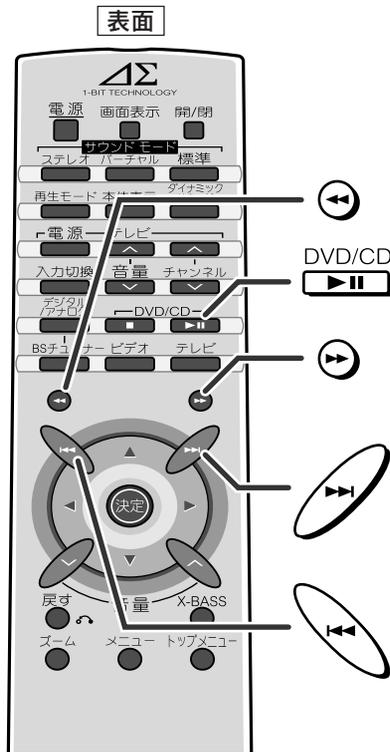
DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

DVD VCD CD

再生しているチャプター(トラック)をとばして、次のチャプター(トラック)を再生することや、再生しているところを確認しながら、さがすことができます。

4章 活用

よく使う操作



■ チャプター(トラック)の頭出しをする(スキップ)

1 再生中に…

または を押す。

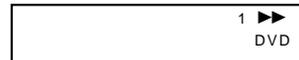
- を押すと、次のチャプター(トラック)が再生されます。
- を押すと、チャプター(トラック)の頭から再生し、続けて押すと前のチャプター(トラック)が再生されます。

■ 早送り/早戻しをする(サーチ)

1 再生中に…

または を押す。

例) を押したとき



- 押すたびに次のようにサーチ速度が変わります。
1 (約2倍速) → 2 (約8倍速) → 3 (約32倍速)
- で進み、 で戻ります。

2 通常の再生に戻すには、 を押す。

お知らせ

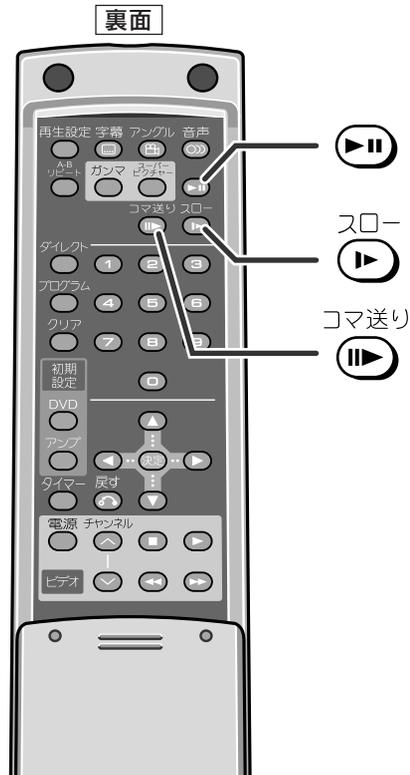
- ディスクによってはスキップが禁止されているものがあります。また、チャプター(トラック)表示をしないものがあります。
- 本体の または を押しても操作することができます。

DVD VCD CD

お知らせ

- ディスクによっては、サーチが禁止されているものがあります。
- DVDではタイトルをまったく早送りや早戻しはできません。
- DVDの早送りや早戻し中は音声と字幕が再生されません。ビデオCDや音楽用CDでは音声が出ません。
- ビデオCDと音楽CDのときは、1(約2倍速) → 2(約8倍速)の順番でサーチ速度が変わります。
- 3(約32倍速)は選べません。
- DVDの再生中に早送りや早戻しをしたとき、ディスクや再生しているシーンによっては、映像が本書に記載のサーチ速度にならないことがあります。
- 本体の または を2秒以上押しても操作することができます。

再生する速度を遅くしたり、画像を静止させることができます。また、静止画再生のときは、コマ送りすることもできます。



■ スローモーションで見る (スロー再生)

DVD VCD

- 再生中に…
スロー
▶ を押す。
押すたびに次のように再生速度が変わります。
1 (約 1/2 倍速) → 2 (約 1/8 倍速) → 3 (約 1/16 倍速)
- 通常の再生に戻すには、▶ を押す。

お知らせ ……………
ディスクによっては、スロー再生が禁止されているものがあります。

■ 静止画 / コマ送りで見ると (静止画再生 / コマ送り再生)

DVD VCD

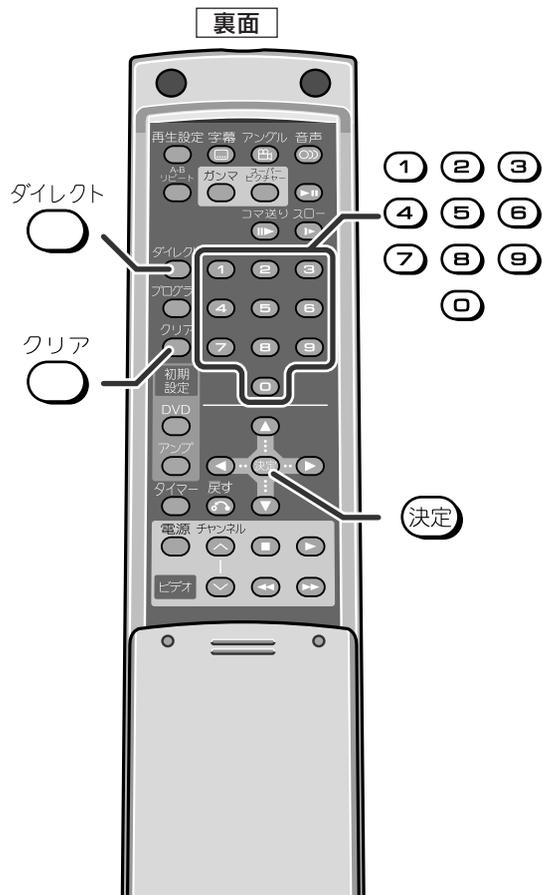
- 再生中に…
▶ を押す。
静止画再生になります。
- 静止画再生中に…
コマ送り
▶ を押す。
コマ送り再生になります。
- 通常の再生に戻すには、▶ を押す。

お知らせ ……………
ディスクによっては、静止画再生やコマ送り再生が禁止されているものがあります。

4 章 活用

よく使う操作

好きなタイトル (トラック) やチャプターを選んで再生することができます。



■好きなところから再生する (ダイレクト再生)

好きなタイトル (トラック) を選んで再生するには

1 停止中や再生中に…
ダイレクト
○ を押す。

例) 再生中の表示

T 1 / 5
C 8 / 30
01:23:40

2 10 秒以内に…
数字入力ボタン (0~9)
で入力し、決定 を押す。

例) 再生中の表示

T 3 / 5
C 8 / 30
01:23:40

数字をまちがえたときは、クリア を押し、再度入力をしてください。

好きなチャプターを選んで再生するには

1 再生中に…
ダイレクト
○ を 2 回押す。

T 3 / 5
C - / 30
01:23:40

2 10 秒以内に…
数字入力ボタン (0~9)
で入力し、決定 を押す。

T 3 / 5
C 8 / 30
01:23:40

数字をまちがえたときは、クリア を押し、再度入力をしてください。

お知らせ

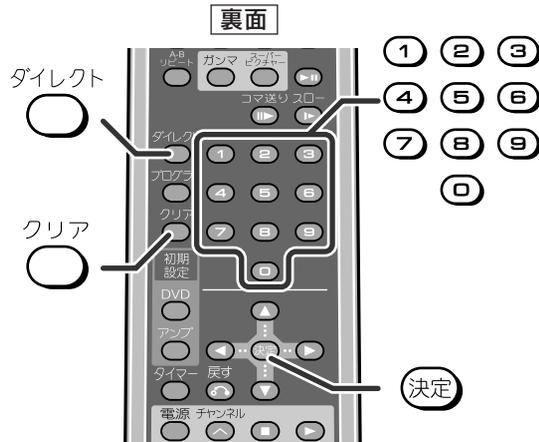
- タイトル (トラック) が記録されていないディスクでは、ダイレクト再生することができません。
- ディスクによっては、ダイレクト再生が禁止されているものがあります。
- DVDは選んだタイトルのチャプター 1 から再生されます。
- ディスクにないタイトル (トラック) 番号を入力しても再生されません。
- 数字入力ボタンのかわりに、▲ または ▼ を押しても選ぶことができます。

DVD

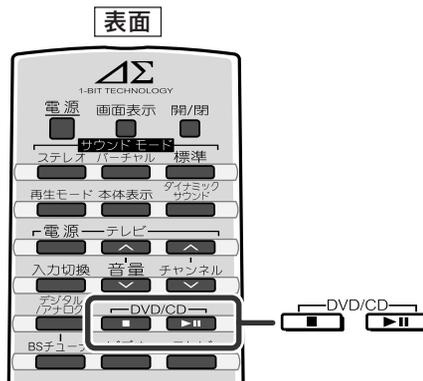
お知らせ

- ディスクによっては、チャプター番号を表示しないものがあります。
- ディスクにないチャプター番号を入力しても再生されません。
- 数字入力ボタンのかわりに、▲ または ▼ を押しても選ぶことができます。

時間を指定すると、選んだところから再生することができます。



映像を停止した位置から再生することができます。



時間を指定して再生するには

1 再生中に…

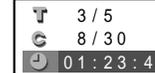
ダイレクト
○ を3回押す。



2 10秒以内に…

数字入力ボタン(0~9)
で入力し、決定○を押す。

- ・1時間23分40秒を指定するには、「012340」と入力してください。
- ・数字をまちがえたときは、クリア○を押し、再度入力をしてください。



■ 停止した位置から続けて再生する (つづき再生)

1 再生中に…

DVD/CD
■ を押す。

停止した位置を記憶します。

2 DVD/CD ■ を押す。

停止した位置から再生されます。

3 つづき再生を解除するには、DVD/CD ■ を2回押す。

DVD

お知らせ ……………

- ・ディスクにない時間を入力しても再生されません。
- ・数字入力ボタンのかわりに、▲または▼を押して入力することもできます。そのときは、◀または▶を押して時間、分、秒を切り換えます。

4 章
活用

よく使う操作

DVD

お知らせ ……………

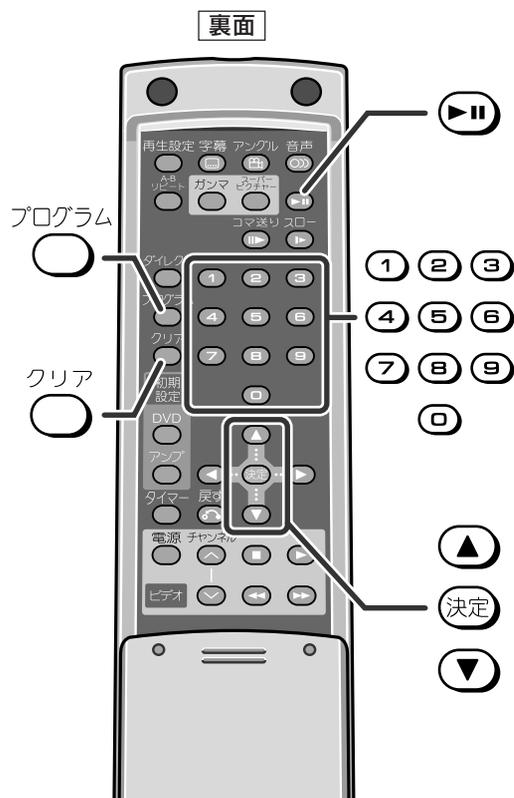
- ・ディスクによっては、つづき再生ができないものがあります。
- ・ディスクによっては、停止位置の少し前から再生されることもあります。
- ・ディスクの始めから再生したいときは、つづき再生を解除してください。
- ・ディスクドアを開けると、つづき再生は解除されます。

便利な操作

好きなタイトル（トラック）順に再生することができます。最大20件まで登録することができます。

4章 活用

便利な操作



好きな順に再生する（プログラム再生）

好きなタイトル（トラック）順で再生するには

DVD VCD CD

例) DVDで12番目のタイトルを入力するとき

1 停止中に…
プログラム
○を押す。



プログラム画面が表示されます。

2 ▲または▼を押して、登録する
タイトル（トラック）番号を選び
決定を押す。



- ・登録するとカーソルが移動します。
- ・引き続き別の番号を登録するときは、くり返し操作します。
- ・番号をまちがえたときは、^{クリア}○を押してください。

3 ◀を押す。

登録した順番で再生したあとと停止します。
登録した内容は、ディスクを取り出すまで覚えています。

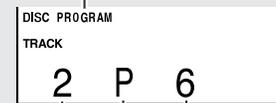
登録内容を変更するには

操作1に戻り、再度入力します。

お知らせ

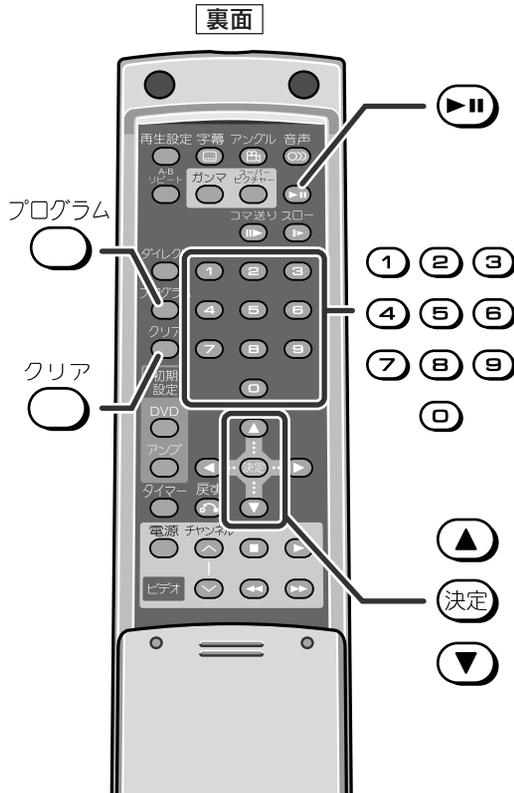
- ・▲や▼のかわりに、数字入力ボタン（0～9）を押してもタイトル（トラック）番号を選ぶことができます。
- ・数字入力ボタンでディスクに記録されていないタイトル（トラック）番号を入力しても登録されません。
- ・再生中や一時停止中に登録することはできません。
- ・タイトル（トラック）が記録されていないディスクでは、プログラム再生することはできません。
- ・プログラム再生が禁止されているディスクでは、プログラム再生することはできません。
- ・登録を途中で止めるときは、^{戻す}○を押してください。
- ・同じディスクでもう一度プログラム再生するときは、^{プログラム}○を押したあと、再生してください。
- ・CDなどをプログラム再生するときは、本体表示を見ながら登録することができます。

プログラム表示



トラック番号 プログラム番号

好きなチャプター順に再生することができます。
最大 20 件まで登録することができます。



同じタイトルの中で好きなチャプター順で再生するには

DVD

1 停止中に…

プログラム

○ を 2 回押す。

プログラム画面が表示されます。

チャプタープログラム			
T=タイトル:	-	-	C=チャプター
0	---	0	---
1	---	1	---
2	---	2	---
3	---	3	---
4	---	4	---
5	---	5	---
6	---	6	---
7	---	7	---
8	---	8	---
9	---	9	---

2 ▲または▼を押して、タイトル番号を選び決定○を押す。

番号を間違えたときは、クリアを押したあと入力し直してください。

チャプタープログラム			
T=タイトル:	0	2	C=チャプター
0	---	0	---
1	---	1	---
2	---	2	---
3	---	3	---
4	---	4	---
5	---	5	---
6	---	6	---
7	---	7	---
8	---	8	---
9	---	9	---

3 ▲または▼を押して、登録するチャプター番号を選び決定○を押す。

- ・登録するとカーソルが移動します。
- ・引き続き別の番号を登録するときは、くり返し操作します。

チャプタープログラム			
T=タイトル:	0	2	C=チャプター
0	15	0	---
1	---	1	---
2	---	2	---
3	---	3	---
4	---	4	---
5	---	5	---
6	---	6	---
7	---	7	---
8	---	8	---
9	---	9	---

4 決定○を押す。

登録した順番で再生したあと停止します。
登録した内容は、ディスクを取り出すまで覚えています。

登録内容を変更するには

操作 1 に戻り、再度入力します。

お知らせ

- ・▲や▼のかわりに、数字入力ボタン (0~9) を押してもタイトル番号やチャプター番号を選ぶことができます。
- ・再生中や一時停止中に登録することはできません。
- ・チャプターが記録されていないディスクでは、プログラム再生することはできません。
- ・プログラム再生が禁止されているディスクでは、プログラム再生することはできません。
- ・登録を途中で止めるときは戻すを押してください。
- ・同じディスクでもう一度プログラム再生するときは、決定○を押したあと、再生してください。

4 章
活用

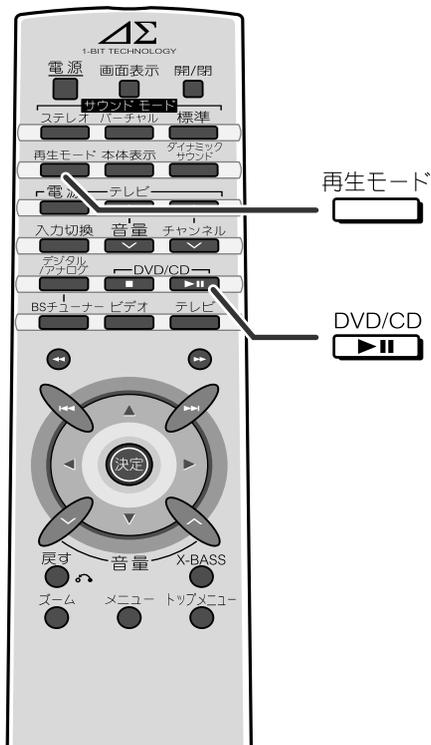
便利な操作

便利な操作（続き）

VCD CD

曲を順不同に再生したり、全曲をくり返し再生することができます。

表面



■ 順不同で再生する（ランダム再生）

1 停止中に…再生モード **ランダム** をくり返し押しして「RANDOM」を選び、**DVD/CD** を押す。

ランダム再生が始まります。



2 通常の再生に戻すには、再生モード **ノーマル** をくり返し押しして「NORMAL」を選ぶ。

■ くり返して再生する（リピート再生）

VCD CD

1 停止中に…再生モード **リピート** をくり返し押しして「REPEAT」を選び、**DVD/CD** を押す。

リピート再生が始まります。



2 通常の再生に戻すには、再生モード **ノーマル** をくり返し押しして「NORMAL」を選ぶ。

お知らせ.....

- ディスクによっては、ランダム再生が禁止されているものがあります。
- 全曲のランダム再生が終わると自動的に停止します。
- 再生中に再生モードの「RANDOM」を選ぶと、その時点からランダム再生が始まります。
- プログラム再生中は、ランダム再生はできません。

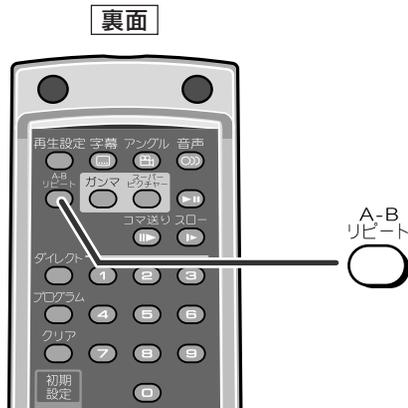
ご注意.....

リピート再生は、停止をするまでくり返します。
切り忘れに注意してください。

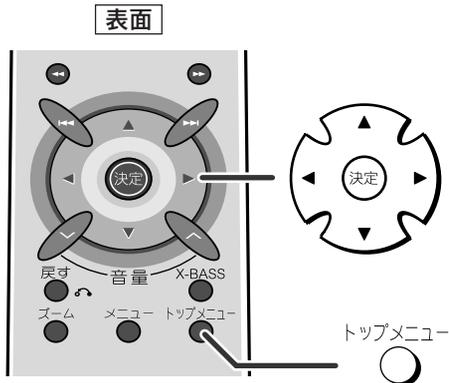
お知らせ.....

- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。
- 再生中に再生モードの「REPEAT」を選ぶと、その時点からリピート再生が始まります。

再生中に、指定した位置間をくり返して再生することができます。



複数のタイトルが入っている DVD では、トップメニューからタイトルを選ぶことができます。



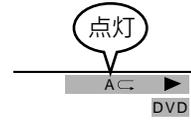
■ 指定した位置間をくり返して再生する (A-B リピート再生)

DVD VCD CD

1 再生中に…

**A-B
リピート**
○を押す。

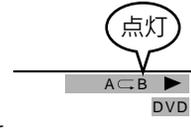
くり返したいはじめの位置(A)が登録されます。



2 もう一度…

**A-B
リピート**
○を押す。

くり返したい終わりの位置(B)が登録され、A - B 間がくり返して再生されます。



3 通常の再生に戻すには、**A-B リピート** ○を押す。

■ ディスクのトップメニューからタイトルを選ぶ

DVD

1 停止中に…

トップメニュー
○を押す。

トップメニュー画面の例

1 ドラマ	2 アクション
3 SF	4 コメディ

2 ◀、▶、▲または▼を押して、タイトルを選び **決定** ○を押す。

- ・選んだタイトルが再生されます。
- ・ディスクによっては、リモコンの裏面にある数字入力ボタン (0 ~ 9) を押してもタイトルを選ぶことができます。

お知らせ

- ・ディスクによっては、A-B リピート再生が禁止されているものがあります。
- ・DVD の A-B リピート再生は同じタイトルの中で行ってください。
- ・DVD の A-B リピート再生は A-B 間にアングルが記録されている部分があるできません。(P.33)
- ・プログラム再生中は、A-B リピート再生はできません。

4 章 活用

便利な操作

お知らせ

- ・左記の手順は、基本的な操作手順です。DVD によっては手順が異なりますので、DVD の取扱説明書や画面に表示される手順に従って操作してください。
- ・DVD にトップメニューが記録されていないときは、トップメニューは表示されません。

いろいろな設定

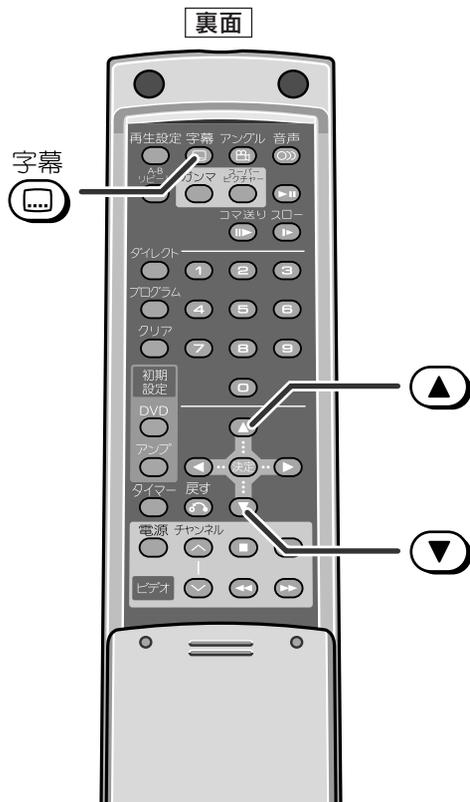
再生中に、字幕言語を変更したり、字幕を消したりすることができます。

電源を切ったり、ディスクを入れ換えると、初期設定で設定している言語が表示されます。

いつも希望する言語を表示したいときは、初期設定画面で希望する字幕言語を設定してください。

(P.60)

裏面



4章 活用

いろいろな設定

■ 字幕言語を変更する

DVD

1 再生中に…

字幕
 を押す。



2 10秒以内に…

字幕
 をくり返し押して、
字幕言語を選ぶ。



▲ または ▼ を押しても選ぶことができます。

お知らせ ……………

- DVDによっては、字幕言語の変更が禁止されているものがあります。
- 字幕が記録されていないディスクのときは「XX」が表示されます。
- 選んだ字幕言語に切り換わるまで、少し時間がかかることがあります。

■ 字幕を消す

DVD

1 字幕の表示中に…

字幕
 を押す。

2 10秒以内に…

字幕
 をくり返し押して、
「切」を選ぶ。

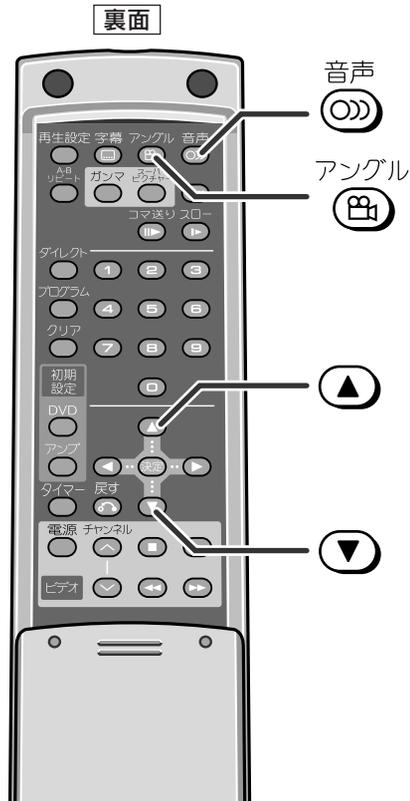


▲ または ▼ を押しても選ぶことができます。

お知らせ ……………

- DVDによっては、字幕を消すことが禁止されているものがあります。

再生中に、音声言語を変更することができます。
電源を切ったり、ディスクを入れ換えると、初期設定で設定している音声言語になります。
いつも希望する音声言語にしたいときは、初期設定画面で希望する音声言語を設定してください。
( P.60)



■ 音声言語を変更する

DVDに複数の音声言語や別の音声方式が記録されているときは、変更することができます。

- 1 再生中に…
音声
 を押す。



- 2 10秒以内に…
音声
 をくり返し押して、音声番号を選ぶ。

- ・選ばれた番号の音声言語や音声方式に変わります。
- ・ または  を押しても選ぶことができます。

(例)

- | | |
|---|---------------------------------|
|  | 1: オリジナル<英語>
(DTS 5.1 サラウンド) |
|  | 2: 日本語
(ドルビーデジタル5.1サラウンド) |

■ アングルを変更する

DVDにアングルが記録されていると、1つの場面をいろいろな角度で見ることができます。

- 1 本体表示部に「ANGLE」が表示されたら…
アングル
 を押す。

- 2 10秒以内に…
アングル
 をくり返し押して、アングル番号を選ぶ。
 または  を押しても選ぶことができます。

DVD

お知らせ

- ・DVDによっては、音声言語の変更が禁止されているものがあります。
- ・DVDによっては、再生中に  を押しても変更できないことがあります。そのときは、ディスクのメニューから変更してください。
( P.39)
- ・音声言語や音声方法の種類については、ディスクの取扱説明書をごらんください。

4 章
活用

いろいろな設定

DVD

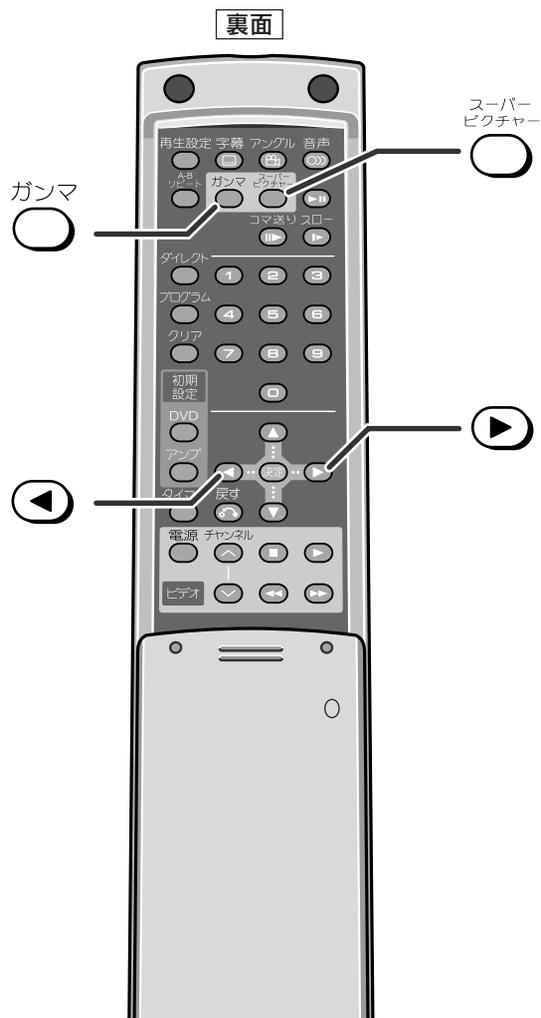
お知らせ

- ・DVDによっては、アングルの変更が禁止されているものがあります。
- ・アングルが記録されていないディスクでは、アングル番号は表示されません。「X X」が表示されます。
- ・ディスクによっては操作が異なりますので、ディスクの取扱説明書をごらんください。

いろいろな設定 (続き)

DVD VCD

再生中に画像や画質を調整することができます。



4章
活用

いろいろな設定

■ 画像を明るくする

- 再生中に…
ガンマ
○ をくり返し押して、「入」を選ぶ。
押すたびに「入」、「切」が切り換わります。
- 10秒以内に…
◀ または ▶ を押して、レベルを設定する。
- もとの明るさに戻すには、ガンマ
○ をくり返し押して、「切」を選ぶ。

レベル	設定内容
切	通常の画像
入 ▶▶▶	少し明るく
入 ▶▶▶▶	より明るく
入 ▶▶▶▶▶	さらに明るく

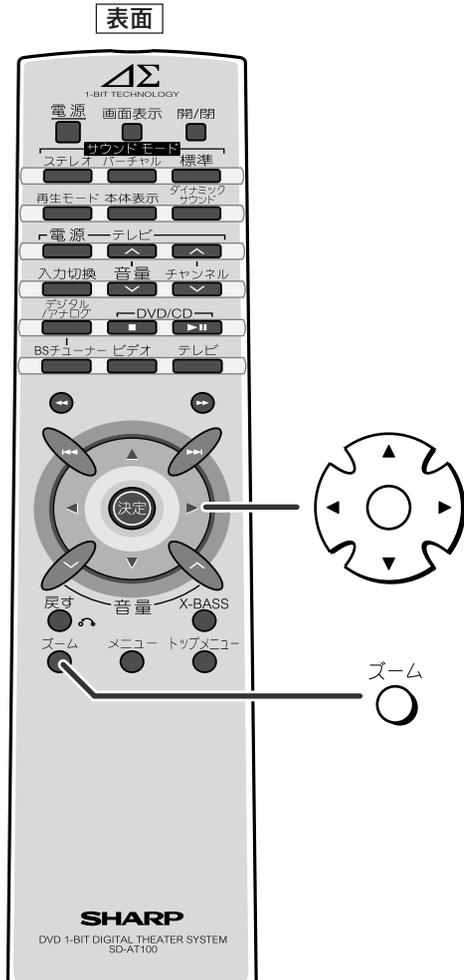
■ 画質を鮮明にする

- 再生中に…
スーパーピクチャー
○ をくり返し押して、「入」を選ぶ。
押すたびに「入」、「切」が切り換わります。
- 10秒以内に…
◀ または ▶ を押して、レベルを設定する。
- もとの画質に戻すには、スーパーピクチャー
○ をくり返し押して、「切」を選ぶ。

DVD VCD

レベル	設定内容
切	通常の画質
入 ◀▶▶▶▶	少し鮮明に
入 ◀▶▶▶▶▶	より鮮明に
入 ◀▶▶▶▶▶▶	さらに鮮明に
入 ◀▶▶▶▶▶▶▶	やわらかな画質

DVD の再生中に、画像を拡大して表示させることができます。



■ 画像を拡大表示する (ズーム)

DVD

- 1 再生中に…
ズーム
○を押す。 ズーム：1 → ズーム表示

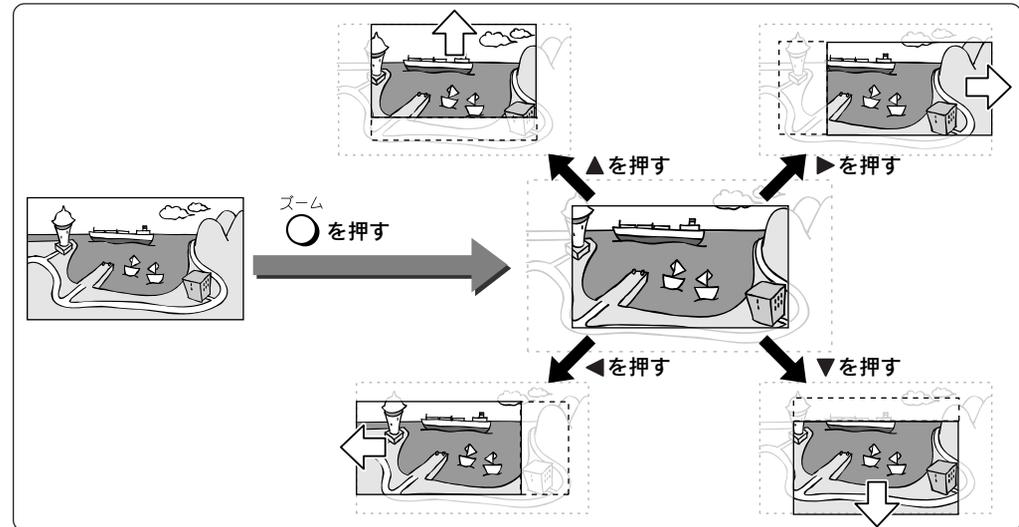
押すたびに、「ズーム：1 (約 1.2 倍)」→「ズーム：2 (約 1.5 倍)」→「ズーム：3 (約 2.0 倍)」→「ズーム表示消灯 (解除)」の順に切り換わります。

- 2 拡大した部分を移動するには、ズーム中に…
▲、▼、◀または▶をくり返し押す。

- 3 通常の画面に戻すには、ズーム
○をくり返し押し
して「ズーム表示消灯 (解除)」を選ぶ。
ズームを解除すると、拡大画面の移動も解除されます。

お知らせ

- ズーム切換のとき、画面が乱れることがあります。
- 字幕はズームされません。
- 画面の移動中にズーム表示が白色から赤色に変わると、それ以上移動できません。
- 拡大画面の移動をしているときに、アングルを切り換えられる場面になると、ズームは自動的に解除されます。
- 初期設定の「ワイド DVD 出力」を [4:3] [PS] に設定して、パンスキャン機能のあるディスクを再生したときは「ズーム：3」にはなりません。



4 章 活用

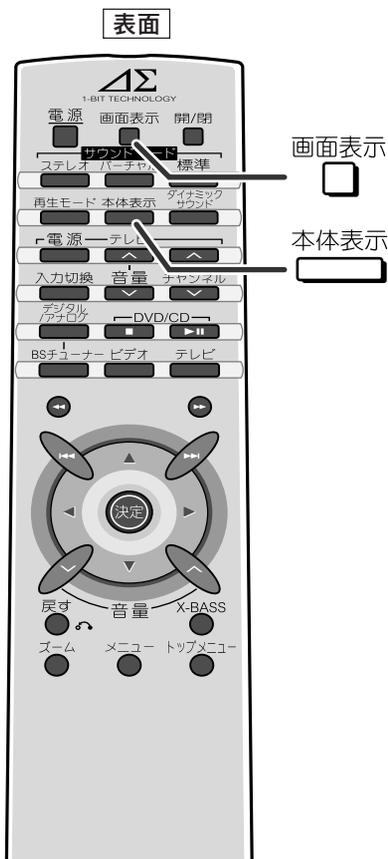
いろいろな設定

いろいろな設定 (続き)

テレビ画面の動作表示を常に表示させたり、消したりすることができます。
また、本体表示部の表示内容を切り換えることができます。

4章 活用

いろいろな設定

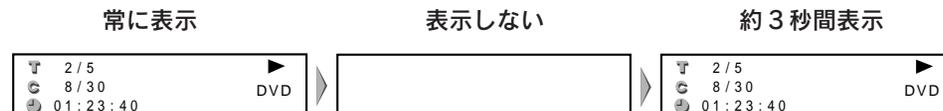


■ テレビ画面の表示を切り換える

DVD VCD CD

再生中に…  を押す。(押すたびに切り換わります。)

例) DVD の場合



■ 本体表示部の表示内容を切り換える

DVD VCD CD

再生中に…  を押す。(押すたびに表示が切り換わります。)

DVD の場合		
ディスク表示		
タイトル番号 (99 まで)	チャプター番号 (999 まで)	チャプター再生 経過時間
音楽 CD やビデオ CD の場合		
トラック番号 (99 まで)	トラック再生 経過時間	総再生経過時間
PBC (プレイバックコントロール) 付ビデオ CD の再生時は「PBC」と表示され、トラック番号は表示されません。		

ディスクによってはタイトル番号、チャプター (トラック) 番号、再生経過時間を表示しないものがあります。

■ 動作表示の種類

動作表示は、DVDの再生を例に説明しています。

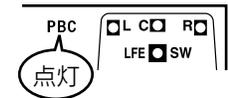
動作	テレビ画面表示	本体表示
電源入時 (ディスクなし)		NO DISC
ディスク データ読み中		READING 文字がスクロールします
ディスクの種類	 DVD	DVD disc
停止	 DVD	STOP
再生	 DVD	PLAY 約3秒間表示
静止 (一時停止)	 DVD	PAUSE 約3秒間表示
スロー再生	 DVD	23 : 40

動作	テレビ画面表示	本体表示
早送り (サーチ)	 DVD	23 : 40
早戻し (サーチ)	 DVD	23 : 40
つづき再生	 DVD つづき	STOP 約3秒間表示

■ PBC (プレイバックコントロール) 対応のビデオCDを再生するには

- ①  を押す。
メニュー画面が表示されます。
- ② 数字入力ボタン (0~9) で再生したいメニューの番号を押す。
- ③  を押す。
再生が始まります。

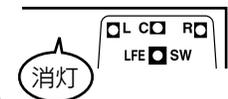
(本体表示)



ビデオCDによって、操作方法が異なります。くわしくはビデオCDの取扱説明書をごらんください。

メニュー画面を表示させずに再生したいときは

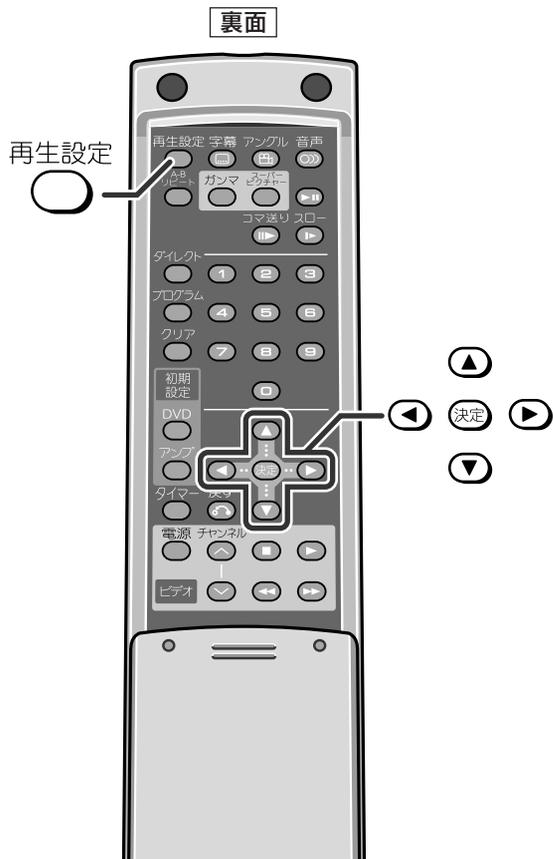
停止ボタンを押したあと、 を押してください。
このとき、PBC機能は解除され、通常の再生になります。



再生設定画面からは、いろいろな項目の設定を同時に変更することができます。

4章 活用

いろいろな設定

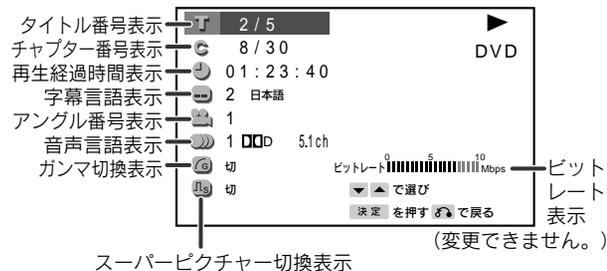


再生設定画面から設定を変更する

1 再生中に… を押す。

2 または を押して、項目を選び を押す。

例) DVD の場合



3 、、 または を押して、設定を変更し を押す。

例) ガンマ切換を選んだとき



指示に従い操作をくり返す。
(くり返す回数は、設定項目により異なります。)

続けて他の設定を変更するときは、操作2からくり返してください。

4 再生設定 を押す。

設定が登録され、再生画面に戻ります。

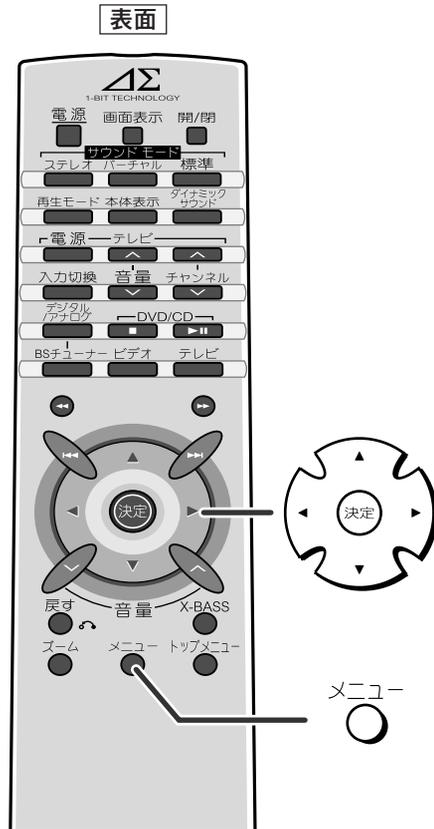
お知らせ.....

- ディスクにより項目が選べないことがあります。
- 項目や設定を選んでいるときに、 を押すと、一つ前の画面に戻ります。

ダイレクトボタンなどを使って直接設定項目を選ぶには、下記のボタンを押します。
(くわしくは)

設定項目	ボタン
タイトル番号表示	ダイレクト (1回)
チャプター番号表示	ダイレクト (2回)
再生経過時間表示	ダイレクト (3回)
字幕言語表示	字幕
アンクル番号表示	アンクル
音声言語表示	音声
ガンマ切換表示	ガンマ
スーパーピクチャー切換表示	スーパーピクチャー

メニューが記録されているDVDでは、ディスクのメニューから字幕や音声言語、ドルビーデジタル(5.1ch)/DTS音声などを変更することができます。



■ ディスクのメニューから設定する

1 停止中や再生中に…
メニュー画面の例



2 ◀、▶、▲または▼を押して、メニューから変更したい項目を選び(決定)を押す。

3 ◀、▶、▲または▼を押して、設定を変更し(決定)を押す。

メニュー
○を押すと、再生画面に戻ります。

お知らせ

- 左記の手順は、基本的な操作手順です。DVDによっては手順が異なりますので、DVDの取扱説明書や、画面に表示される手順に従って操作してください。
- プログラム再生中は、ディスクのメニュー画面を表示することはできません。

4 章 活用

いろいろな設定

ひろがりのある音を楽しむ (サウンドモード)

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

サラウンドの種類

入力信号の種類

特長

切り換え可能なサウンドモード

ドルビー デジタル
Dolby Digital


のマークつきディスク

劇場向けデジタル音声システムの1つです。立体的な音響効果が得られ、本格的なホームシアターシステムが楽しめます。ドルビーデジタル方式で記録されているディスクを再生すると、自動的に判断します。

ステレオ
バーチャル
標準
ダイナミックサウンド

DTS
デジタル シアター システムズ
(Digital Theater Systems)


のマークつきディスク

劇場向けデジタル音声システムの1つです。音質を重視しているため、リアルな音響効果が得られ、本格的なホームシアターシステムが楽しめます。DTS方式で記録されているディスクを再生すると自動的に判断します。

ステレオ
バーチャル
標準
ダイナミックサウンド

AAC
アドバンスド オーディオコーディング
(Advanced Audio Coding)


BS デジタル放送

BSデジタル放送に採用されているデジタル音声システムです。BSデジタルチューナーを光デジタルケーブルを使って接続したときは、自動的に判断し、最大5.1chの高音質が楽しめます。(BSデジタルチューナーの音声出力については、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。)

ステレオ
標準
ダイナミックサウンド

ドルビー プロ ロジック
Dolby Pro Logic II

ステレオ音声で録音されているディスクやビデオテープなど

ステレオ音声で録音されているディスクやビデオテープなどを再生すると、ドルビープロロジックII機能により自動的に判断し、5.1chのデジタルサラウンド音声に変換します。自然な音響効果が得られます。

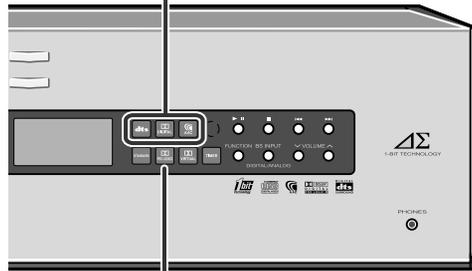
ステレオ
バーチャル
標準
ダイナミックサウンド

ステレオ・バーチャルを選んだときは、表示は消灯します。

5 章 応 用

ひろがりのある音を楽しむ (サウンドモード)

本体表示



- ・標準モードで2chの信号が入力されたときに点灯し、5.1chのサラウンド音声に拡張します。
- ・ドルビーデジタルで記録された2ch音声でも、5.1chに拡張します。
- ・AAC放送で2ch音声のときも、5.1chに拡張します。

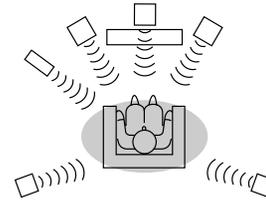
聞こえかた

標準

最大5.1chのサラウンド音声で再生され、立体的な音響効果が楽しめます。録音された音声信号に応じて、出来るだけ5.1chで再生するよう、自動的に働きます。



が点灯します。



ダイナミックサウンド

シーンに合わせて楽しむことができる機能です。

ムービー

MOVIE : 低音のレベルを増やし、より迫力のあるサウンドが楽しめます。

ミュージック

MUSIC : 歯切れを良くし、メリハリのあるサウンドが楽しめます。

ナイト

NIGHT : 小さい音量でもソフトで迫力のあるサウンドが楽しめます。

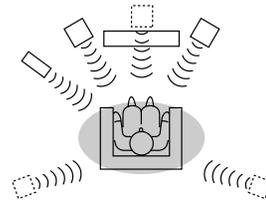
バーチャル

サラウンドスピーカーからは音は出ませんが、サラウンドスピーカーがあるような音響効果が2.1chで楽しめます。

にもスピーカーがあるように感じます。

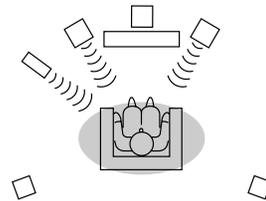


が点灯します。



ステレオ

左右のフロントスピーカーとサブウーハーからの音響効果が楽しめます。



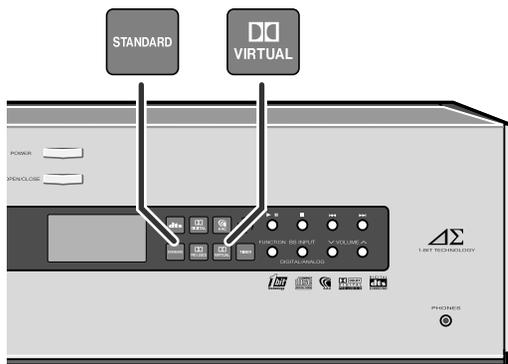
ご注意.....
音声出力設定が「D-PCM」になっているとドルビーデジタルは動きません。
(P.61)

お知らせ.....

- ・ディスクの種類（ドルビーデジタルやDTSなど）が複数記録されているディスクを再生するときは、音声を切り換えることができます。
(P.33)
- ・サウンドモードが標準のとき、モノラル信号ではセンタースピーカーのみ再生します。
- ・サウンドモードがバーチャルやステレオのとき、モノラル信号では2ch(L, R)同じ音声を再生します。
- ・BSデジタルチューナーのときは、53、57ページをご覧ください。

ひろがりのある音を楽しむ(サウンドモード)(続き)

DVD VCD CD



■ サウンドモードの切り換えかた

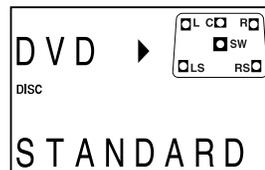
「標準」で楽しむ

再生中に…

標準 を押す。

が点灯します。

例) ドルビーデジタル5.1chの場合



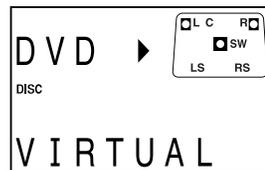
「バーチャル」で楽しむ

再生中に…

バーチャル を押す。

が点灯します。

例) ドルビーデジタル5.1chの場合

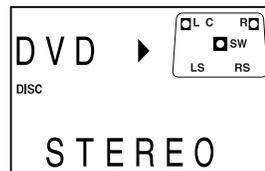


「ステレオ」で楽しむ

再生中に…

ステレオ を押す。

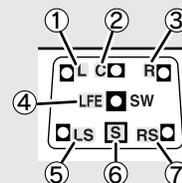
例) ドルビーデジタル5.1chの場合



お知らせ

- ダイナミックサウンドの「MOVIE」「MUSIC」「NIGHT」に切り換えることができます。

- 入力される音声信号に応じて、サラウンド信号表示が点灯します。

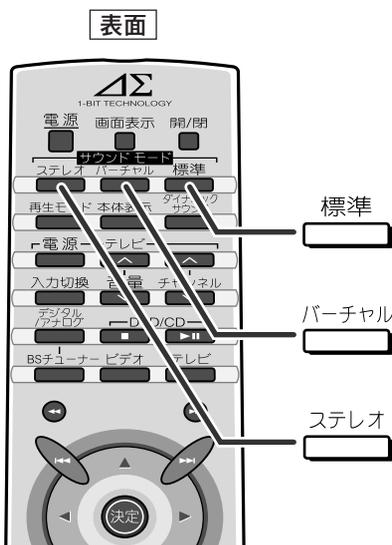


- ① フロント「左」信号表示
- ② センター信号表示
- ③ フロント「右」信号表示
- ④ LFE「低域効果」信号表示
- ⑤ サラウンド「左」信号表示
- ⑥ サラウンド「モノラル」信号表示
- ⑦ サラウンド「右」信号表示

- ディスクの中には、サンプリング周波数が96kHzで記録されたものがあります。このようなディスクを再生したときは、サウンドモードが自動的に「ステレオ」に切り換わります。
(「標準」や「バーチャル」へ切り換えることはできません。)

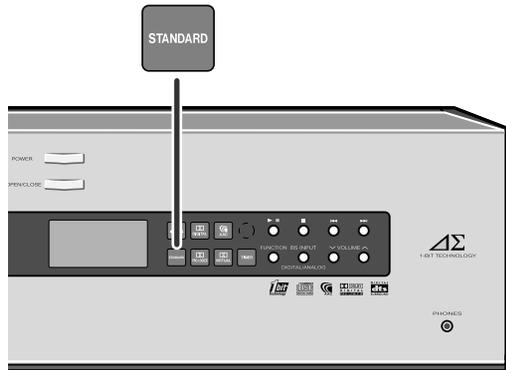
5章 応用

ひろがりのある音を楽しむ (サウンドモード)

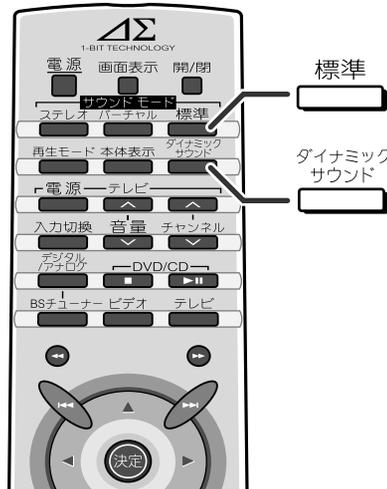


DVD VCD CD

■ ダイナミックサウンドで楽しむ



表面



再生中に…

ダイナミックサウンド を押す。

STANDARD が点灯します。

押すたびに ^{ムービー}「MOVIE」 → ^{ミュージック}「MUSIC」 → ^{ナイト}「NIGHT」の順に切り換わります。

ムービー MOVIE	MOVIE
低音のレベルを増やし、より迫力のあるサウンドが楽しめます。	
ミュージック MUSIC	MUSIC
歯切れを良くし、メリハリのあるサウンドが楽しめます。	
ナイト NIGHT	NIGHT
小さい音量でもソフトで迫力のあるサウンドが楽しめます。	

「標準」のサラウンド音声に戻すには…

標準 を押す。

お知らせ……………
ステレオやバーチャルを選んでいるときに、ダイナミックサウンドボタンを押すと、サウンドモードの種類は「標準」になります。

5 章
応 用

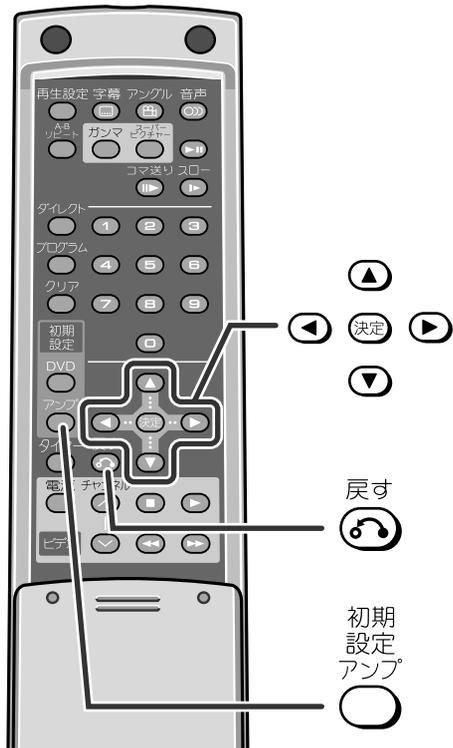
ひろがりのある音を楽しむ
(サウンドモード)

スピーカーの設定について

フロントスピーカー、センタースピーカーやサラウンドスピーカーのスピーカーサイズを変更することができます。また、センタースピーカー、サラウンドスピーカーやサブウーハーをYES(入)またはNO(切)に設定することができます。

・スピーカーの設定は、テレビ画面に表示されません。本体の表示で確認してください。

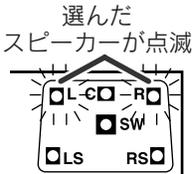
裏面



5 章
応用

スピーカーの設定について

■ スピーカーサイズの設定

- 1 初期設定 ^{アンプ} を押す。
- 2 10 秒以内に…
 または で「SP SIZE」を選び、
 を押す。
- 3 10 秒以内に…
 または を押して、
 スピーカーを選ぶ。

- 4 10 秒以内に…
 または を押して、サイズを選ぶ。
 ・他のスピーカーを設定するときは、操作3からくり返してください。
 ・ を2回押すと、設定は終了します。

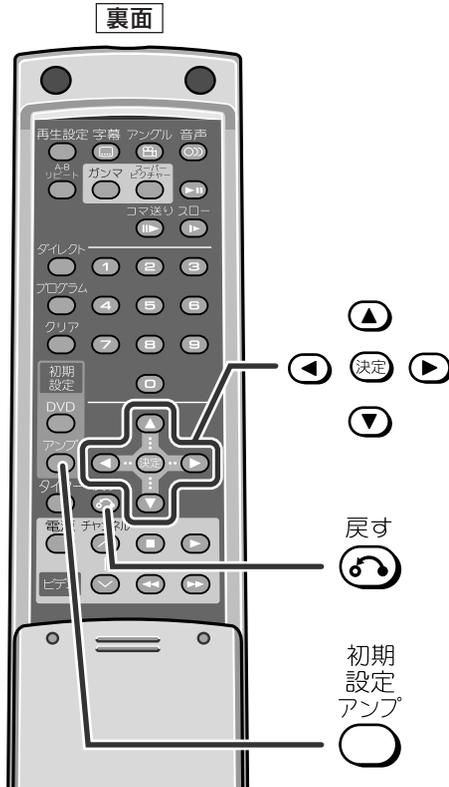
ご注意.....

- ・スピーカーサイズの設定は、サウンドモードを「標準」にして行ってください。「ステレオ」や「バーチャル」では、サブウーハーの設定しできません。
- ・「F-SMALL」と「SW-NO」を組み合わせることはできません。「F-SMALL」にしている「SW-NO」に設定すると、「F-SMALL」が「F-LARGE」に切り換わります。「SW-NO」にしている「F-SMALL」に設定すると、「SW-NO」が「SW-YES」に切り換わります。これは、低域の不足を補うための動きです。

スピーカーの種類	スピーカーサイズ		スピーカーの種類	スピーカーサイズ	
フロントスピーカー 「左」「右」	F-LARGE	大口徑	サラウンドスピーカー 「左」「右」	S-LARGE	大口徑
	F-SMALL*	小口徑		S-SMALL*	小口徑
センター スピーカー	C-LARGE	大口徑	サブウーハー	S-NO	切
	C-SMALL*	小口徑		SW-YES*	入
	C-NO	切	SW-NO	切	

*印はお買いあげ時の設定です。(付属のスピーカーでの推奨設定になっていますので、他のスピーカーを接続するとき以外は、これらの設定で使用してください。スピーカーサイズを「LARGE」に設定すると、サブウーハーからの音は小さくなります。)

お部屋の環境などで、各スピーカーを等距離に設置できないときでも、スピーカーディレイを設定すると各スピーカーを等距離に設置したときと同じような効果が得られます。



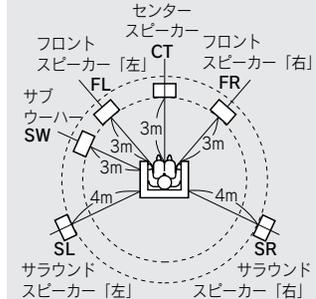
■ スピーカーディレイの設定

- 1 初期設定 ^{アンプ} **○** を押す。
- 2 10秒以内に…
 ◀ または ▶ で「SP DELAY」を選び、
 (決定) を押す。
- 3 30秒以内に…
 ◀ または ▶ を押して、スピーカーを選ぶ。
- 4 30秒以内に…
 ▲ または ▼ で距離を選び、(決定) を押す。

FL 3.0m

 - ・距離の設定は0.1m単位で切り換えることができます。
 - ・他のスピーカーの距離を設定するときは、操作3からくり返してください。
 - ・^{戻す} (戻る) を2回押すと、設定は終了します。

視聴する位置から各スピーカーまでの距離を測り、スピーカーディレイの設定をしてください。



上記の配置では、フロントスピーカー「左」「右」・センタースピーカー・サブウーハーは3mに、サラウンドスピーカー「左」「右」は4mに設定します。本機が設定した距離からディレイタイムを算出し、各スピーカーを等距離に配置したときと同じような効果が得られます。

5 章 応用

スピーカーの設定について

スピーカーの種類	調整範囲	スピーカーの種類	調整範囲		
FL	フロントスピーカー「左」	0.1 ~ 9.0m	SR	サラウンドスピーカー「右」	0.1 ~ 9.0m
CT	センタースピーカー	0.1 ~ 9.0m	SL	サラウンドスピーカー「左」	0.1 ~ 9.0m
FR	フロントスピーカー「右」	0.1 ~ 9.0m	SW	サブウーハー	0.1 ~ 9.0m

お買い上げ時は、どのスピーカーも2.0mに設定されています。

スピーカーの設定について (続き)

お部屋の環境などで、各スピーカーからの聞こえが均一でない場合は、スピーカーレベルを均一に調整することができます。

■ スピーカーレベルの調整

- ① 初期設定 ^{アンプ} を押す。
- ② 10 秒以内に…
 または で「SP LEVEL」を選び、
 を押す。
- ③ 10 秒以内に…
 または を押して、スピーカーを選ぶ。
- ④ 10 秒以内に…
 または を押して、レベルを調整する。

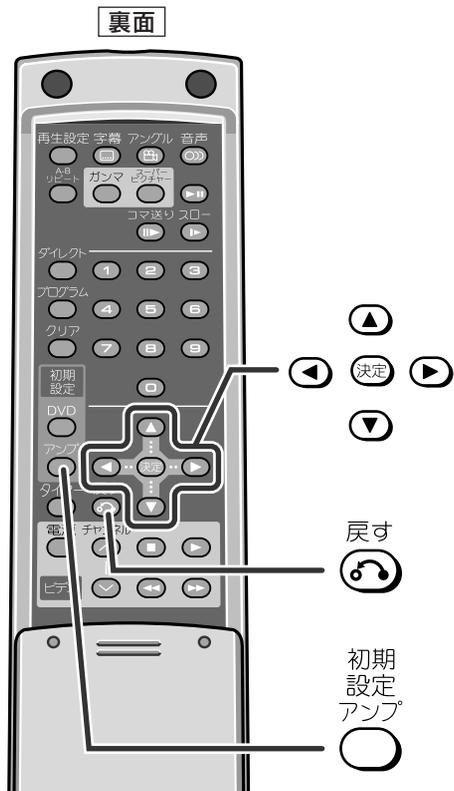
FL + 5_{dB}

- ・レベルの調整は 1dB 単位で切り換えることができます。
- ・他のスピーカーのレベルを調整するときは、操作 3 からくり返してください。
- ・ を 2 回押すと、設定は終了します。

お知らせ
 サブウーハーの音が歪むときは、サブウーハーのレベルを調整してください。

5 章
応用

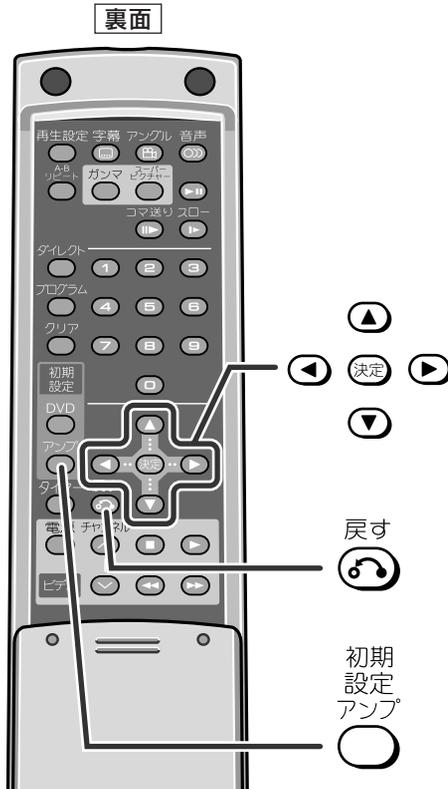
スピーカーの設定について



スピーカーの種類		調整範囲
FL	フロントスピーカー「左」	- 6dB ~ + 6dB
CT	センタースピーカー	- 6dB ~ + 6dB
FR	フロントスピーカー「右」	- 6dB ~ + 6dB

スピーカーの種類		調整範囲
SR	サラウンドスピーカー「右」	- 6dB ~ + 6dB
SL	サラウンドスピーカー「左」	- 6dB ~ + 6dB
SW	サブウーハー	- 10dB ~ + 10dB

各スピーカーに一定音を出し、音の確認ができます。
(スピーカーレベルが合っていないときは、調整することもできます。)

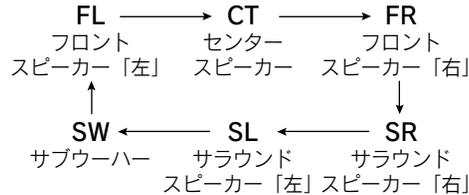


■ テストトーンでの確認

① 初期設定 ^{アンプ} を押す。

② 10秒以内に…
 または で「TONE」を選び、
 を押す。

フロントスピーカー「左」から順に、2秒間のテストトーンを各スピーカーにくり返し出力します。



③ 確認を終わるには…
^{戻す} を2回押す。

レベル調整が合っていないときは

テストトーン出力中に…

- ① または を押して、スピーカーレベルを調整します。
- ② または を押すと、スピーカーを選ぶことができます。

お知らせ ……………
 スピーカーサイズの設定で、
 NO (切) を選んだスピーカーは
 テストトーンができません。

5 章 応用

スピーカーの設定について

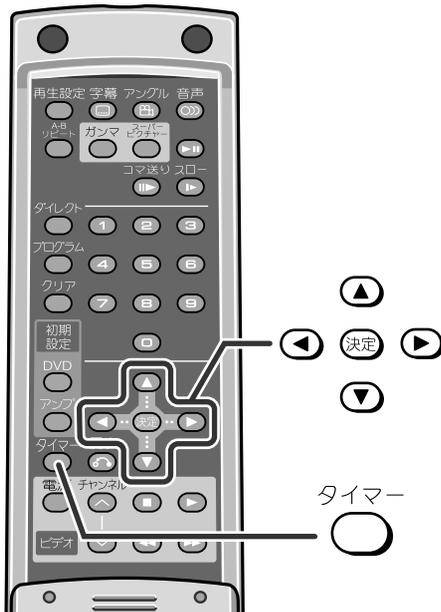
タイマーを使う

設定した時刻に映像や音楽を楽しむことができます。

タイマーを使う前に

1. 時計を合わせてください。(P.20)
時計を合わせていないと、タイマー再生は使用できません。
2. 再生の準備をしてください。

裏面



5章 応用

タイマーを使う

■ タイマーを設定する

- 1 電源を入れて…

タイマー
○を押す。

「TIMER STANDBY」が表示されないときは、時計を合わせてください。

TIMER

STANDBY

- 2 10秒以内に…

← または → で「TIMER SET」を選び、
決定を押す。

TIMER

SET

- 3 ▲ または ▼ で開始時刻の「時」を合わせ、

決定を押す。

AM 7:00

- 4 ▲ または ▼ で開始時刻の「分」を合わせ、決定を押す。

開始時刻が設定され、「時」が1時間増えて、終了時刻に切り換わります。

ON
AM 7:30 → OFF
AM 8:30

- 5 操作3～4と同じ手順で、終了時刻を設定する。

- 6 ▲ または ▼ で入力を切り換えて、

決定を押す。

DVD/CD ↔ BS-D ↔ BS-A
↕ TV ↔ VTR ↕

- 7 ▲ または ▼ で音量を調整して、決定を押す。

設定内容が順に表示されたあと、電源が切れます。

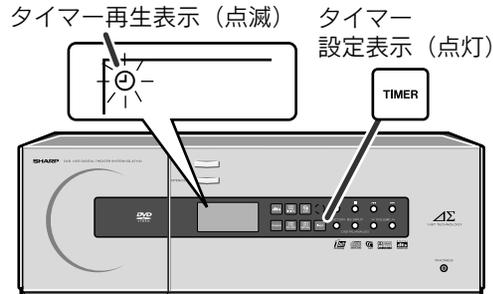
タイマー設定表示が点灯し、待機状態になります。 **TIMER** が点灯します。

タイマー設定の内容を確認したいとき…

- ① タイマー再生待機状態のときに…
タイマー
○ を押す。 CANCEL
- ② 10秒以内に…
◀ または ▶ で [TIMER CALL] を選び、 (決定) を押す。
設定内容が順に表示されたあと、タイマー再生の待機状態に戻ります。

タイマー開始時刻になると…

タイマー再生が始まり、音量は徐々に大きくなります。



タイマー終了時刻になると…

電源が自動的に切れます。

設定内容は変更するまで覚えています。

● 同じ内容で再度タイマーを使うには

タイマーの内容は、一度設定すると覚えています。内容を変えないときは、次の操作で動作します。

- ① 電源を入れて… ^{タイマー} ○ を押す。
[TIMER STANDBY] が表示されないときは、時計の設定が消えています。そのときは、時計を合わせてタイマー設定をやり直してください。
- ② 10秒以内に… (決定) を押す。
設定内容が順に表示されたあと、タイマー再生の待機状態になります。

● タイマー設定の内容を変更するには

電源を入れて…

「タイマーを設定する」の操作1からやり直してください。
(P.48)

● タイマー再生を解除するには

タイマー再生待機状態のときに、電源を入れると解除されます。電源を入れずに次の操作でも解除できます。

- ① ^{タイマー} ○ を押す。
[TIMER CANCEL] が表示されます。
- ② 10秒以内に… (決定) を押す。
タイマー再生は解除されます。(設定した内容は消えません。)

ご注意

- 電源コードを抜いたり、停電になるとタイマー設定の内容は消えます。そのときは、もう一度設定してください。
- 他の機器は、この製品のタイマーでは操作できません。BSチューナーやテレビ、ビデオなどの音声を用いて、タイマー再生する場合は、接続している機器もタイマー開始の設定をしておく必要があります。

お知らせ

メニュー画面の表示されるディスクは、タイマー再生ができません。

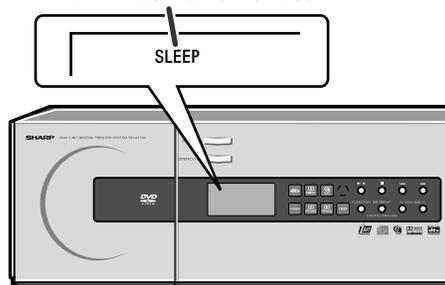
5 章 応用

タイマーを使う

スリープを使う

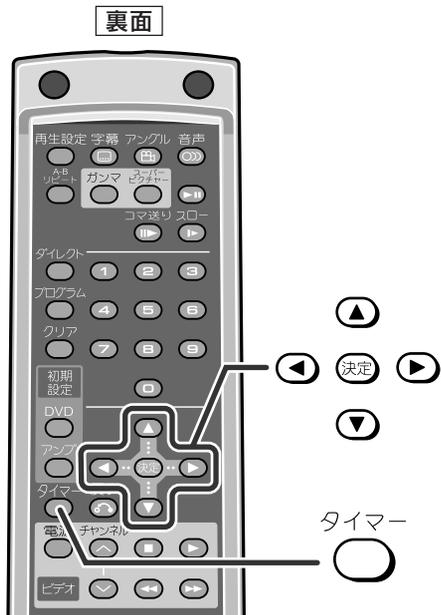
映像や音楽を楽しみながら、設定した時間で電源を切ることができます。

スリープ再生表示 (点灯)



5章 応用

スリープを使う



■ スリープを設定する

- 1 再生中に…
タイマー
○を押す。 TIMER
STANDBY
- 2 10秒以内に…
スリープ
◀または▶で「SLEEP
セット
SET」を選び、決定を押す。 SLEEP
SET
- 3 ▲または▼を押して、
時間を選ぶ。 2:00
・時間は2時間～1分まで選べます。
・2時間～5分までは5分単位で、5分～1分までは1分単位で設定できます。
- 4 決定を押す。
スリープ再生表示が点灯し、スリープ再生が始まります。

スリープ再生終了時刻になると…

再生が終わり、電源が自動的に切れます。

終了時刻の1分前になると、音量が徐々に小さくなります。

このとき、音量を変えることはできません。

ご注意……………
他の機器は、この製品のスリープでは操作できません。BSチューナーやテレビ、ビデオなどの音声を用いて、スリープ再生する場合は、接続している機器もスリープの設定をしておく必要があります。

● スリープ中に残り時間を確認する

- ① 「SLEEP」の点灯中に…
スリープ
タイマー
○を押す。
- ② 10秒以内に…
◀または▶で「SLEEP」を選ぶ。

0 : 24 | スリープ再生残り時間

- ・約10秒後にもとの表示に戻ります。
- ・スリープ残り時間が表示されているときに(決定)を押すと、時間を変更することができます。
(P.50 : 操作3～4)

● スリープ再生を解除する

「SLEEP」の点灯中に電源を切ると、スリープ再生は解除されます。電源を切らずに次の操作でも解除できます。

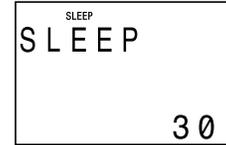
- ① ○を押す。
- ② 10秒以内に…
◀または▶で「SLEEP OFF」を選び、(決定)を押す。

■ スリープとタイマーを組み合わせる

たとえば、CDを聞きながらおやすみになり、次の日の朝、CDの音楽で目覚ましをすることができます。

① スリープ設定をする。

(P.50 : 操作1～4)

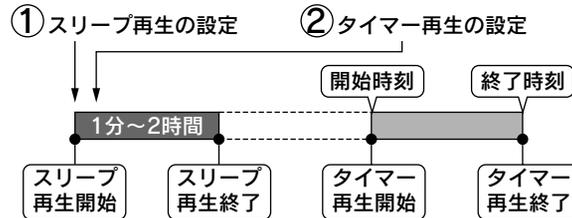


スリープ動作開始

② タイマー再生を設定をする。

(タイマーを設定する P.48 : 操作1～7)

スリープ再生の終了時刻になると電源が自動的に切れ、タイマー再生の開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマー再生が始まります。



お知らせ
他の機器は、この製品のスリープやタイマーでは操作できません。

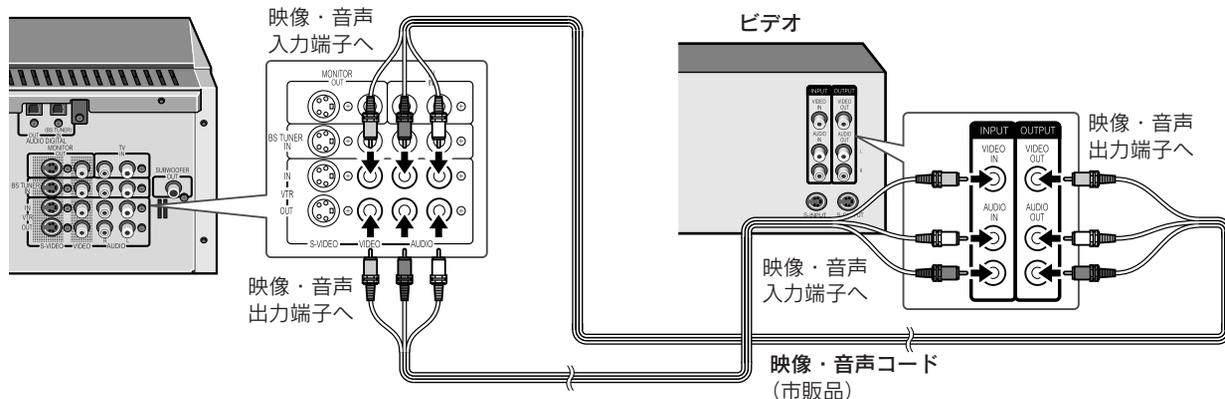
他の機器を接続する

■ ビデオを接続する

S映像端子があるときは、S映像コードで接続するとよりきれいな映像を楽しむことができます。

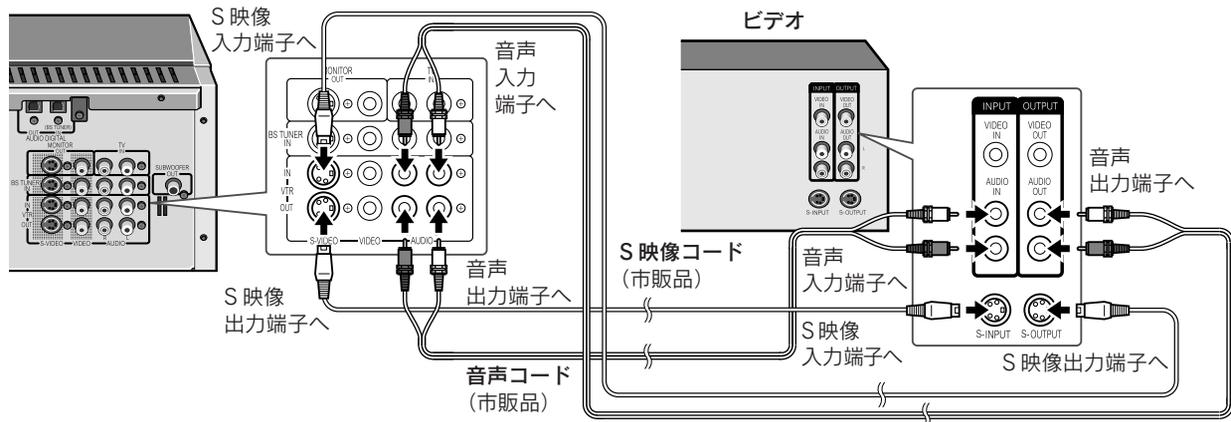
映像端子につなぐとき

映像・音声コードで接続します。



S映像端子につなぐとき

S映像コードと音声コードで接続します。



ご注意

- 接続する前に、各機器の電源を切ってください。
- 他の機器への録音中は、ヘッドホンを抜き差ししたり、サウンドモードの切り換えをしないでください。
音声がかぎれることがあります。

お知らせ

S映像端子に接続するときは、お手持ちのテレビモニター側でもS映像端子につないでください。本機ではS映像信号と通常の映像信号の変換はできません。

映像・音声コード

- 黄色：映像用
- 白色 (L)：音声用
- 赤色 (R)：音声用

音声コード

- 白色 (L)：音声用
- 赤色 (R)：音声用

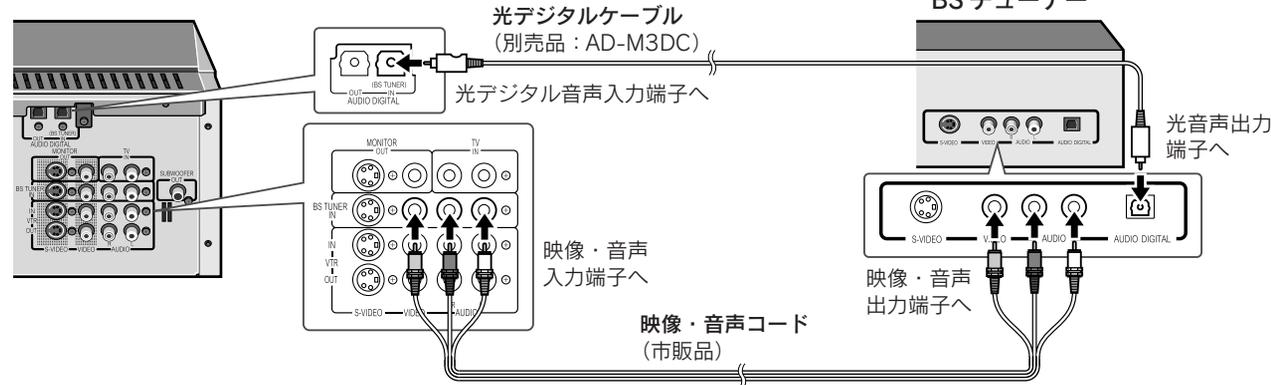
- 各プラグは最後までしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと画面が乱れたり、雑音の原因となります。
- 入力を「VTR」にしたときは、VTR映像・音声出力端子からは出力されません。
- ビデオへ音声信号を録音するときは、サウンドモードを「ステレオ」に切り換えてください。(P.42) 「標準」では人の声などが録音されないことがあります。

■ BS チューナーを接続する

S 映像コードをお使いになるほうが、よりきれいな映像が楽しめます。
音声は、音声コードまたは光デジタルケーブルのどちらか一つを接続すれば聞くことができます。
(接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。)

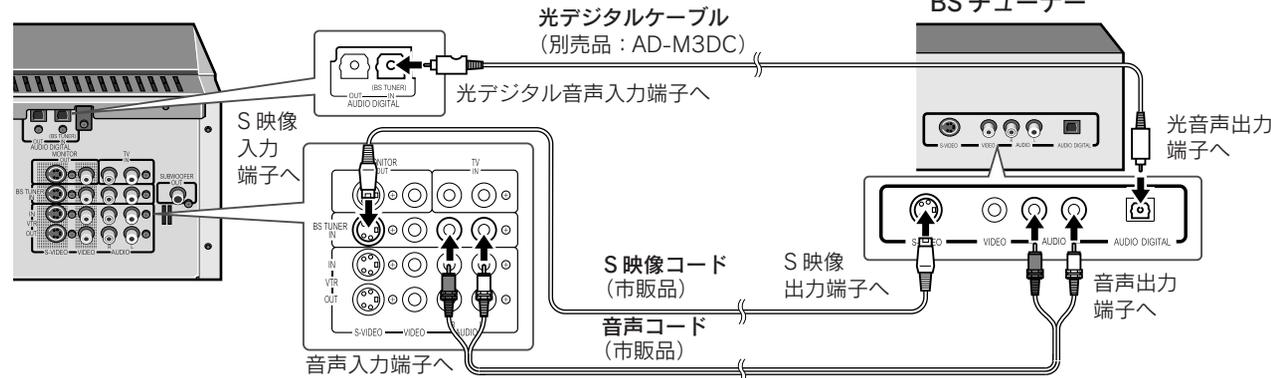
映像端子につなぐとき

映像・音声コード（または光デジタルケーブル）で接続します。



S 映像端子につなぐとき

S 映像コードと音声コード（または光デジタルケーブル）で接続します。



ご注意.....
接続する前に、各機器の電源を切ってください。

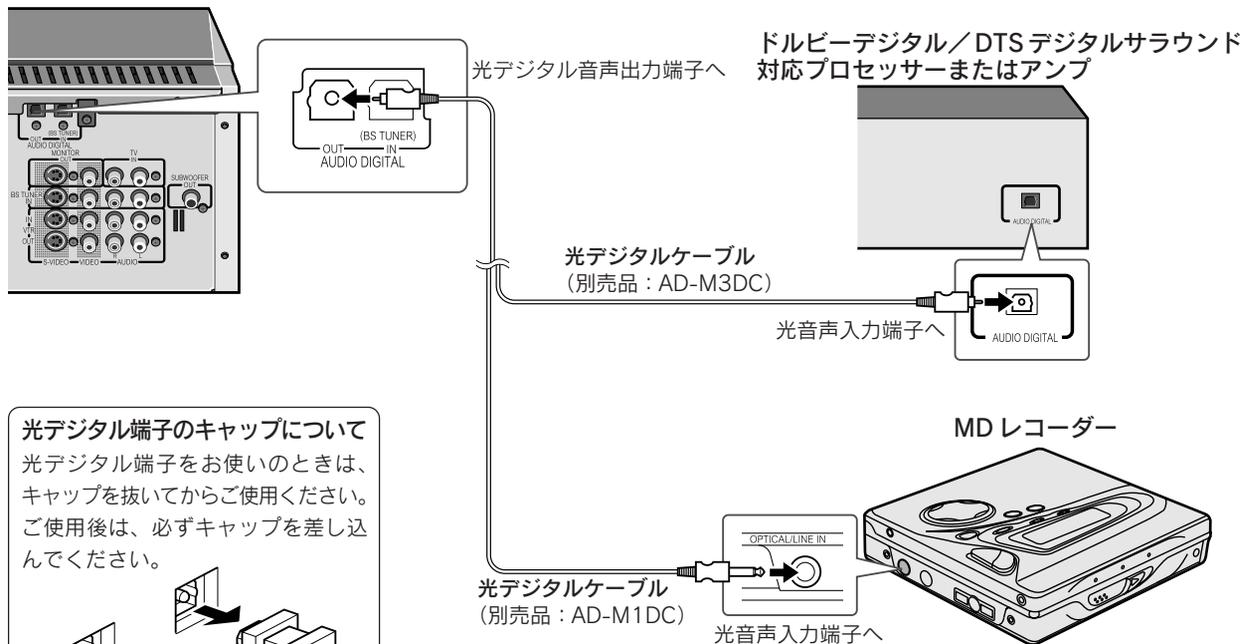
お知らせ.....

- BS デジタルチューナーの AAC サラウンドは、光デジタル音声を入力したときのみ働きます。
- 音声の切り換えは、BS 入力切換ボタンでアナログかデジタルに切り換えてください。
(**▶ P.57**)
- S 映像端子に接続するときは、お手持ちのテレビモニター側でも S 映像端子につないでください。
本機では S 映像信号と通常の映像信号の変換はできません。
- 各プラグは最後までしっかり差し込んでください。
しっかり差し込まないと画面が乱れたり、雑音の原因となります。

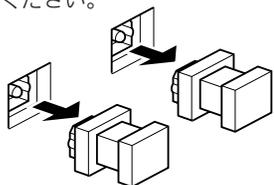
他の機器を接続する（続き）

■ デジタル接続で他のサラウンド対応プロセッサーなどを接続する

他のドルビーデジタル/DTSデジタルサラウンド対応プロセッサーまたはアンプと接続することにより、音声を他の機器でお楽しみいただけます。また、MDレコーダーと接続して録音することもできます。（接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。）



光デジタル端子のキャップについて
光デジタル端子をお使いのときは、キャップを抜いてからご使用ください。ご使用後は、必ずキャップを差し込んでください。



光デジタル出力端子に他の機器を接続するときは、他の機器に合った音声出力に設定してください。（P.61）

ビットストリーム BITSTREAM	5.1chのドルビーデジタル対応のプロセッサーまたはアンプ。
D-PCM	2chのオーディオ機器やMDレコーダーなど。このときは、ドルビーデジタルは動かなくなります。

ご注意.....

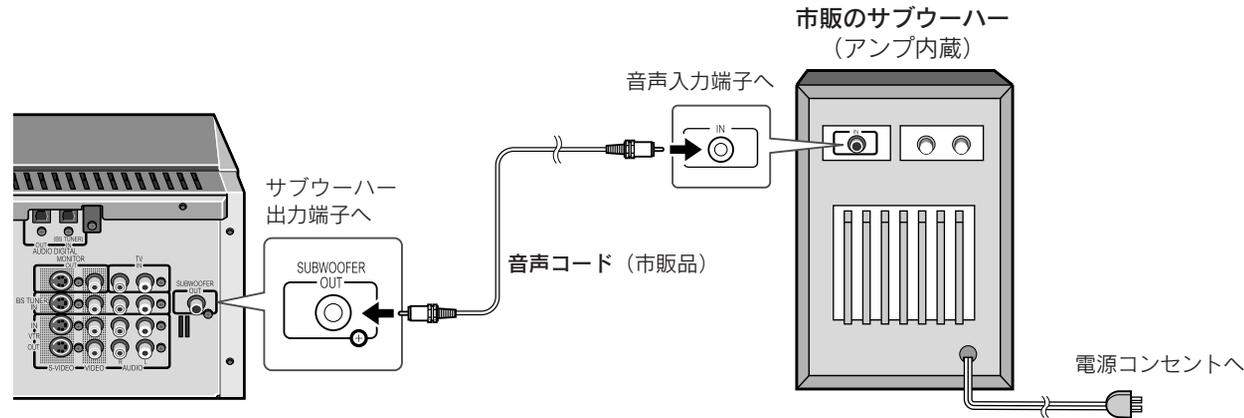
- 接続する前に、各機器の電源を切ってください。
- 他の機器への録音中は、ヘッドホンを抜き差ししたり、サウンドモードの切り換えをしないでください。
音声がとぎれることがあります。

MDレコーダーで録音するときは.....

- DVDのドルビーデジタル音声を録音するには、音声出力設定で「D-PCM」に切り換えてください。（P.61）
- DVDにPCM音声があるときは、「PCM音声」に切り換えてください。（P.33）
- DVDのDTS音声は録音できません。
- BSデジタルチューナーからの音声を録音するには、接続しているBSデジタルチューナーの音声出力を「PCM」に設定してください。（BSデジタルチューナーの取扱説明書をごらんください。）

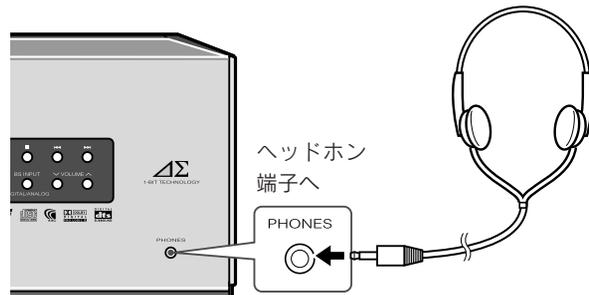
■ 市販のサブウーハーを接続する

市販のアンプ内蔵サブウーハーをつなぐことで、低音をさらに強調させることができます。



■ ヘッドホンを使う

ヘッドホンをつないだり、抜いたりするときは、音量を下げておいてください。



音のエチケット

- ・楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- ・夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ・ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

お知らせ

- ・アンプを内蔵していないスピーカーを接続しても音は出ません。
- ・市販のサブウーハーをつなぐと、付属のサブウーハーと市販のサブウーハーの両方から音が出ます。
- ・スピーカーの設定 (P.44～47) を変更すると、付属のサブウーハーと市販のサブウーハーが同時に設定されます。

5 章 応用

他の機器を接続する

お知らせ

- ・ヘッドホンをつなぐと、すべてのスピーカーから音は出なくなります。
- ・インピーダンス 16～50 Ω (推奨 32 Ω) で、直径 3.5mm ステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
- ・プラグは確実に差し込んでください。
- ・ヘッドホンにはサラウンドは動きません。

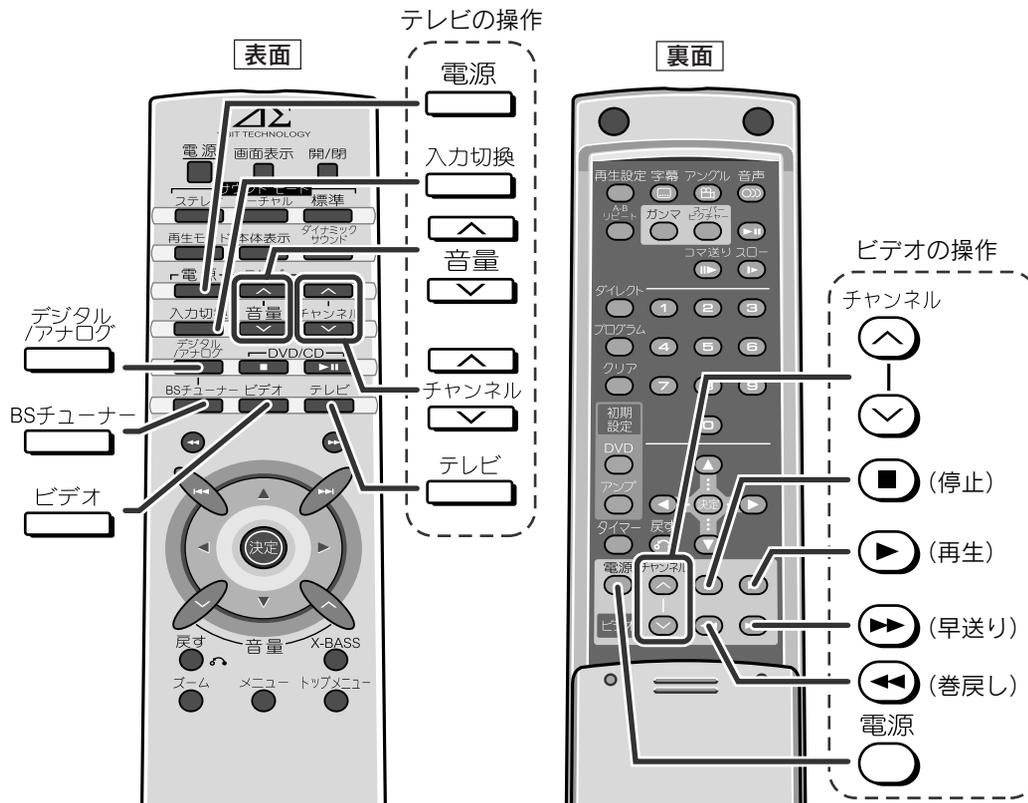
他の機器を操作する

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

接続したテレビやビデオは、本機のリモコンで操作することができます。お買いあげ時は、シャープ製のテレビやビデオを操作できるようになっています。その他のテレビやビデオを操作するには、リモコンの登録内容を変更してください。(P.58 ~ 59)

5章 応用

他の機器を操作する



■ 付属のリモコンでテレビやビデオを操作する

テレビを見る

- 1 テレビ ^{電源} を押して、テレビの電源を入れる。
- 2 テレビ ^{チャンネル} または ^{チャンネル} を押して、テレビのチャンネルを合わせる。
- 3 テレビ ^{音量} または ^{音量} を押して、テレビの音量を調整する。

本機のスピーカーから音を聞きたいときは

本機の電源を入れて…

テレビ ^{テレビ} を押す。

ビデオを見る

- ① 本機の電源を入れて…
ビデオ  を押す。
- ② ビデオ  を押す。
- ③ テレビ  を押して、テレビの入力切換を「ビデオ1、ビデオ2」などに設定する。
- ④ ビデオ  を押す。
再生が始まります。

ビデオ再生のほか、停止・早送り・巻戻し・チャンネル切り換えの操作もできます。

BS放送を見る

- ① 本機の電源を入れて…
BSチューナー  を押す。
- ② BSチューナーの電源を入れる。
- ③ テレビ  を押して、テレビの入力切換を「ビデオ1、ビデオ2」などに設定する。
- ④  を押して、「BS-A」や「BS-D」に切り換える。

アナログ接続のとき

BS-A

デジタル接続のとき

BS-D

ご注意.....
シャープ製のテレビやビデオでも、一部の機種は操作できないものがあります。

お知らせ.....

- BSデジタルチューナーのAACサラウンドは、光デジタル音声を入力したときのみ働きます。
- BS放送の音声を聞くときは、接続した入力端子に合わせて、BS-A（アナログ）またはBS-D（デジタル）を切り換えてください。
- 本体の  でもBS-A（アナログ）やBS-D（デジタル）の切り換えができます。
- BSデジタルチューナーの音声出力については、BSデジタルチューナーの取扱説明書をごらんください。

5章 応用

他の機器を操作する

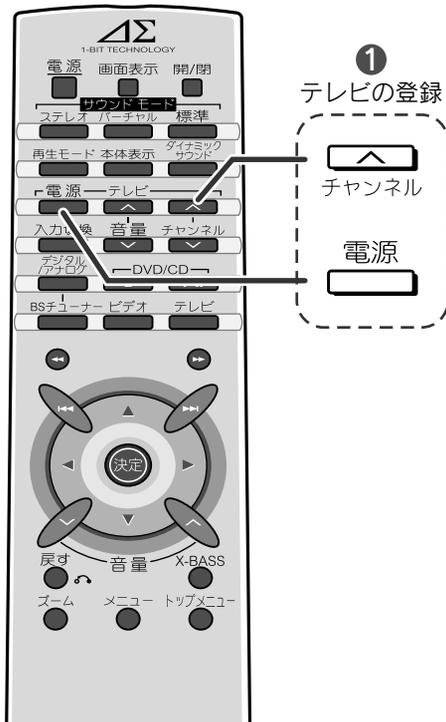
リモコンの登録内容を変える

シャープ製のテレビやビデオは、登録しなくてもリモコンで操作することができます。(ただし、機種によっては操作できないものもあります。)

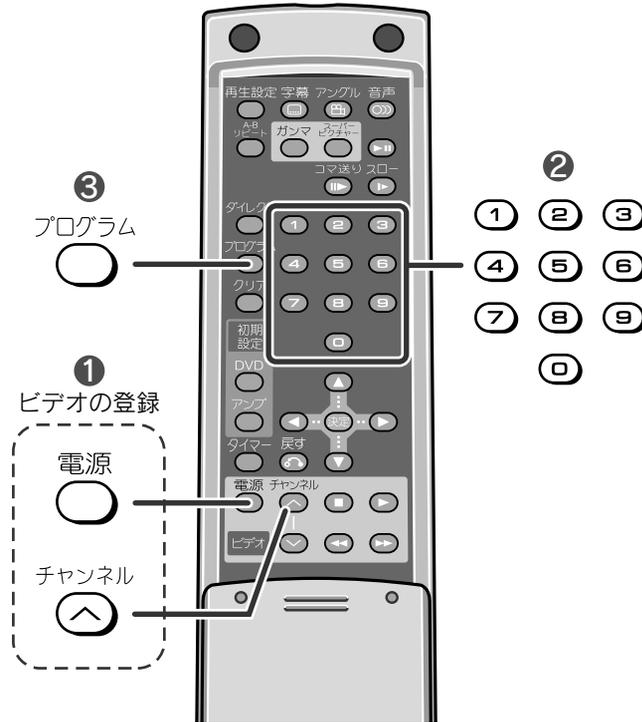
その他のテレビやビデオは、登録内容を変えるとリモコンで操作できるようになります。

・テレビとビデオの登録は別々に設定できます。

表面



裏面



■ テレビのメーカー設定を変える

リモコンの **表面** と **裏面** を操作します。

- 1 テレビ **電源** を押したまま、**チャンネル** を押す。
- 2 数字入力ボタン (0～9) で、メーカー設定番号 (2ケタ) を入力する。
- 3 **プログラム** を押す。
設定したあと、テレビが正しく動作するか、確かめてください。

テレビのメーカー名	設定番号
シャープ	01(*),02
松下電器	03,04,05
日本ビクター	06,07,08
ソニー	09
三菱電機	10,11,12,13
日立製作所	14,15,16,17
東芝	18,19
パイオニア	20
三洋電機	21,22,23,24
富士通	25
アイワ	26
フナイ	27,28,29,30,31,32
SAMSUNG	33,34,35,36

*お買いあげ時のメーカー番号は、01(シャープ)に設定されています。

■ ビデオのメーカー設定を変える

リモコンの **裏面** を操作します。

- 1 ビデオ **電源** を押したまま、**チャンネル** を押す。
- 2 数字入力ボタン (0～9) で、メーカー設定番号 (2ケタ) を入力する。
- 3 **プログラム** を押す。
設定したあと、ビデオが正しく動作するか、確かめてください。

ビデオのメーカー名	設定番号
シャープ	01(*),02,03
松下電器	04,05,06,07
日本ビクター	08,09,10,11,12, 13,14,15,16
ソニー	17,18,19,20,21
三菱電機	22,23,24,25,26,27
日立製作所	28,29,30,31
東芝	32,33,34
三洋電機	35,36,37,69
NEC	38,39,66,67
フナイ	40
SAMSUNG	41,42,43

*お買いあげ時のメーカー番号は、01(シャープ)に設定されています。

お知らせ

- メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してテレビやビデオが操作できる番号を選んでください。
- 操作の途中で30秒以上たつと登録されません。そのときは、もう一度登録してください。
- メーカー番号を登録すると、それまでのメーカー番号は消えます。
- リモコンの電池を交換したときは、メーカー番号が自動的に01(シャープ)に戻ることがあります。そのときは、もう一度登録してください。
- テレビやビデオによっては、設定できないものがあります。また、設定できても一部のボタンが使えないことがあります。

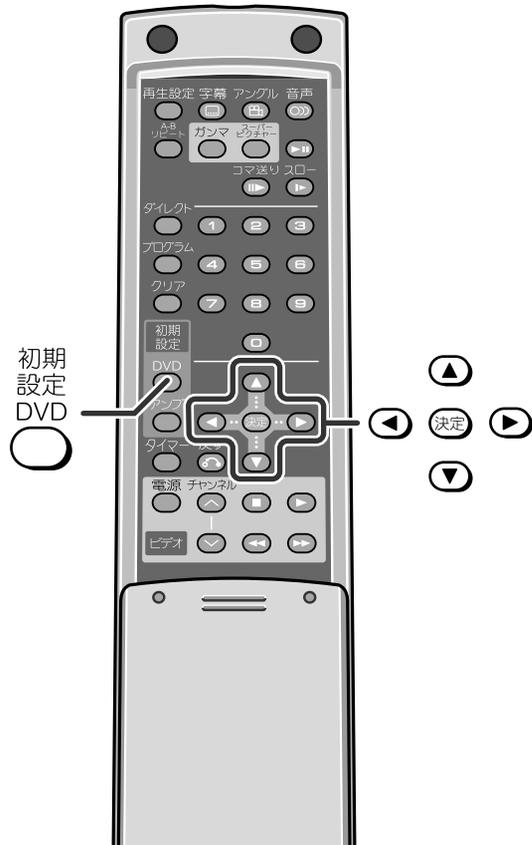
5 章 応用

リモコンの登録内容を変える

DVDの初期設定を変える

初期設定を変更すると、電源を切っても変更した内容を記憶しています。もとに戻したり、変更するときは、もう一度設定し直してください。

裏面



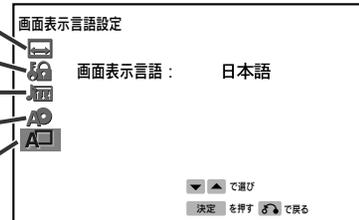
5 章
応用

DVDの初期設定を変える

① DVD/CD を押したあと…
初期設定 を押す。

② または を押して、項目を選び を押す。

映像出力設定
視聴制限設定
音声出力設定
ディスク言語設定
画面表示言語設定



③ , , または を押して、設定を変更し を押す。

例) 画面表示言語設定を選んだとき



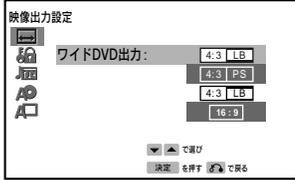
指示に従い、操作をくり返す。
(くり返す回数は、設定項目により異なります。)

続けて他の設定を変更するときは、操作2からくり返してください。

④ 初期設定 を押す。
設定した内容が登録されます。

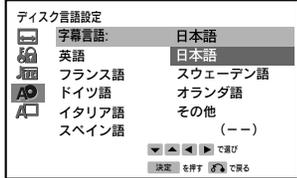
お知らせ

- ディスクの再生中は初期設定画面が表示されません。
- ディスク言語設定で「その他」の言語を設定するときは、64 ページをごらんください。
- 項目や設定を選んでいるときに、 を押すと一つ前の画面に戻ります。

設定項目	初期（お買いあげ時）の設定	選択できる項目	設定内容
映像出力設定 	ワイドDVD出力： 4:3 LB 	ワイドDVD出力： 4:3 PS 4:3 LB 16:9 	接続するテレビの画面サイズを 4:3 PS、4:3 LB、16:9 に設定することができます。 （くわしくは、63 ページをごらんください。）
視聴制限設定 (パレンタル) 	パスワード入力： - - - - (お買いあげ時： ? ? ? ?) 	レベル1～8、切 国コード 	視聴制限が記録されているDVDでは、内容によりあらかじめ国コードと国コードに対応した、視聴制限(パレンタル)のレベルを設定することができます。 （くわしくは、63 ページをごらんください。） パスワードは4ケタの数字を入力します。 パスワードを忘れたときは、数字ボタンのかわりに  コマ送りを4回連続して押せば解除できます。
音声出力設定 (ドルビーデジタル用) 	<input checked="" type="checkbox"/> DIGITAL 出力： BITSTREAM 	BITSTREAM D-PCM 	光デジタル出力端子に他の機器を接続したときは、他の機器に合った音声出力に設定することができます。 <small>ビットストリーム</small> BITSTREAM 5.1chのドルビーデジタル対応のプロセッサーまたはアンプに接続したとき。 D-PCM 2chのオーディオ機器やMDレコーダーなどに接続したとき。このときは、ドルビーデジタルは動かなくなります。

**5 章
応用**
DVDの初期設定を変える

DVD の初期設定を変える (続き)

設定項目	初期 (お買いあげ時) の設定	選択できる項目	設定内容
ディスク言語設定 	字幕言語：日本語 音声言語：英語 メニュー言語：日本語 	英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、日本語、スウェーデン語、オランダ語、その他 (--) 	複数の言語で「字幕」「音声」「メニュー画面」が記録されている DVD は、好みの言語に設定することができます。(くわしくは、64 ページをごらんください。) (言語コード一覧表：  P.65) 設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が再生 (表示) されます。ディスクに記録されている言語を確認して設定してください。
画面表示言語設定 	画面表示言語：日本語 	英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、日本語、スウェーデン語、オランダ語 	初期設定画面や再生設定画面などの表示言語を設定することができます。

5 章 応用

DVD の初期設定を変える

● 接続するテレビの画面サイズについて

選択項目	設定内容
4:3 PS	<p>ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、画像の左右をカット（パンスキャン）して、4:3のサイズで映像を出力します。違和感の少ない画像を楽しむことができます。ただし、パンスキャン[PS]指定のないワイド画像（16：9記録）のディスクは、4:3 LBで再生されます。</p>  <p>4:3 画像のディスクは、そのまま 4:3 で再生されます。</p>
4:3 LB	<p>ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、画像の上下に黒い帯を入れて、4:3のサイズで映像を出力します。ワイド画像（16：9記録）の全体を楽しむことができます。</p>  <p>4:3 画像のディスクは、そのまま 4:3 で再生されます。</p>
16:9	<p>ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、ワイド画像（16：9記録）のサイズで出力します。</p>  <ul style="list-style-type: none"> 4:3 画像のディスクを再生したときは、接続したテレビの設定により表示が変わります。 4:3のテレビと本機を接続した状態で「16:9」を選んでいるとき、ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生すると、縦長の画面になります。

お知らせ
 画像の形が固定されているディスクでは、テレビの画面サイズを変更しても、画像の形は変わりません。

● 視聴制限（パレンタル）レベルについて

選択項目	設定内容																											
レベル 1	<p>子供向けディスクを再生することができます。成人向けディスクと一般向けディスク（R指定を含む）は再生できません。 ・レベル1のディスクは誰でも楽しめる内容です。</p>																											
レベル 2～3	<p>子供向けディスクと一般向けディスク（R指定を除く）を再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R指定）ディスクは再生できません。</p>																											
レベル 4～7	<p>子供向けディスクと一般向けディスク（R指定を含む）を再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。 ・レベル4～7のディスクは中学生以下が見ることができない内容です。</p>																											
レベル 8	<p>すべてのディスクを制限なしに再生することができます。 ・レベル8のディスクは成人しか見ることができない内容です。</p>																											
[切]	<p>視聴制限を解除します。</p>																											
国コード	<p>ディスクが指定している視聴制限の国コードです。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>アメリカ</td> <td>スウェーデン</td> <td>マレーシア</td> </tr> <tr> <td>カナダ</td> <td>オランダ</td> <td>インドネシア</td> </tr> <tr> <td>日本</td> <td>ノルウェー</td> <td>台湾</td> </tr> <tr> <td>ドイツ</td> <td>デンマーク</td> <td>フィリピン</td> </tr> <tr> <td>フランス</td> <td>フィンランド</td> <td>オーストラリア</td> </tr> <tr> <td>イギリス</td> <td>ベルギー</td> <td>ロシア</td> </tr> <tr> <td>イタリア</td> <td>香港</td> <td>中国</td> </tr> <tr> <td>スペイン</td> <td>シンガポール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スイス</td> <td>タイ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	アメリカ	スウェーデン	マレーシア	カナダ	オランダ	インドネシア	日本	ノルウェー	台湾	ドイツ	デンマーク	フィリピン	フランス	フィンランド	オーストラリア	イギリス	ベルギー	ロシア	イタリア	香港	中国	スペイン	シンガポール		スイス	タイ	
アメリカ	スウェーデン	マレーシア																										
カナダ	オランダ	インドネシア																										
日本	ノルウェー	台湾																										
ドイツ	デンマーク	フィリピン																										
フランス	フィンランド	オーストラリア																										
イギリス	ベルギー	ロシア																										
イタリア	香港	中国																										
スペイン	シンガポール																											
スイス	タイ																											

お知らせ
 ・初めてパスワードを入力するときは、確認のため同じパスワードを再度入力してください。パスワードが自動的に登録されます。
 ・視聴制限が記録されているディスクを再生中に、見ることができない場面では、視聴制限の一時変更画面が表示されることがあります。そのときは、パスワードを入力して一時的に視聴制限レベルを変更することができます。

DVDの初期設定を変える (続き)

● ディスク言語について

選択項目	設定内容
字幕言語	再生したい字幕の言語を設定します。 優先的に設定した言語で字幕が表示されます。 日本語に設定したとき → 英語に設定したとき
音声言語	再生したい音声の言語を設定します。 優先的に設定した言語でセリフやナレーションが聞こえます。 日本語に設定したとき → 英語に設定したとき
メニュー言語	再生したいメニューの表示言語を設定します。 優先的に設定した言語でメニュー画面が表示されます。 日本語に設定したとき → 英語に設定したとき

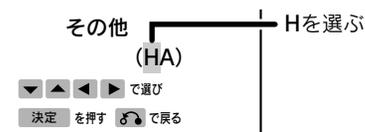
● その他のディスク言語の設定について

例) HU (ハンガリー語) を選ぶ場合

- ① 初期設定画面で「ディスク言語設定」を選んだあと
(P.60: 操作 1~3)、
「その他」を選び(決定)を押す。



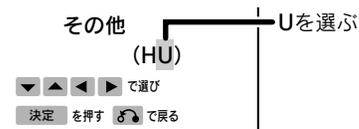
- ② (▲) または (▼) を押して 1 文字目のアルファベット「H」を選ぶ。



- ③ (◀) または (▶) を押してカーソルを 2 文字目に移動させる。



- ④ (▲) または (▼) を押して 2 文字目のアルファベット「U」を選ぶ。



- ⑤ (決定) を押す。

- ⑥ 初期設定 を押す。

● 言語コード一覧表

記号	言語名	記号	言語名	記号	言語名	記号	言語名
AA	アフアル語	FY	フリジア語	LV	ラドビア語、レット語	SL	スロベニア語
AB	アブバシア語	GA	アイルランド語	MG	マダカスカル語	SM	サモア語
AF	アフリカーンス語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SN	シヨナ語
AM	アムハラ語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	GU	グジャラート語	MN	モンゴル語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HI	ヒンディ語	MR	マラータ語	ST	セストゥ語
BA	バジキール語	HR	クロアチア語	MS	マレー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IA	国際語	NA	ナウル語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IE	国際語	NE	ネパール語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TG	タジク語
BO	チベット語	IN	インドネシア語	NO	ノルウエー語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	IT	イタリア語	OM	アフアン語 (オロモ語)	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	IW	ヘブライ語	OR	オリヤー語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	JA	日本語	PA	パンジャブ語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	JL	イディッシュ語	PL	ポーランド語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	JW	ジャワ語	PS	バシュトー語	TR	トルコ語
DE	ドイツ語	KA	グルジア語	PT	ポルトガル語	TS	ツォンガ語
DZ	ブータン語	KK	カザフ語	QU	ケチュア語	TT	タタール語
EL	ギリシャ語	KL	グリーンランド語	RM	ラエティ=ロマン語	TW	トウイ語
EN	英語	KM	カンボジア語	RN	キルンディ語	UK	ウクライナ語
EO	エスペラント語	KN	カナダ語	RO	ルーマニア語	UR	ウルドゥ語
ES	スペイン語	KO	韓国語	RU	ロシア語	UZ	ウズベク語
ET	エストニア語	KS	カシミール語	RW	キニャルワンダ語	VI	ベトナム語
EU	バスク語	KU	クルド語	SA	サンスクリット語	VO	ボラピュク語
FA	ペルシャ語	KY	キルギス語	SD	シンド語	WO	ウォロフ語
FI	フィンランド語	LA	ラテン語	SG	サンゴ語	XH	コーサ語
FJ	フィジー語	LN	リンガラ語	SH	セルビアクロアチア語	YO	ヨルバ語
FO	フェロー語	LO	ラオス語	SI	シンハラ語	ZH	中国語
FR	フランス語	LT	リトアニア語	SK	スロバキア語	ZU	ズール語

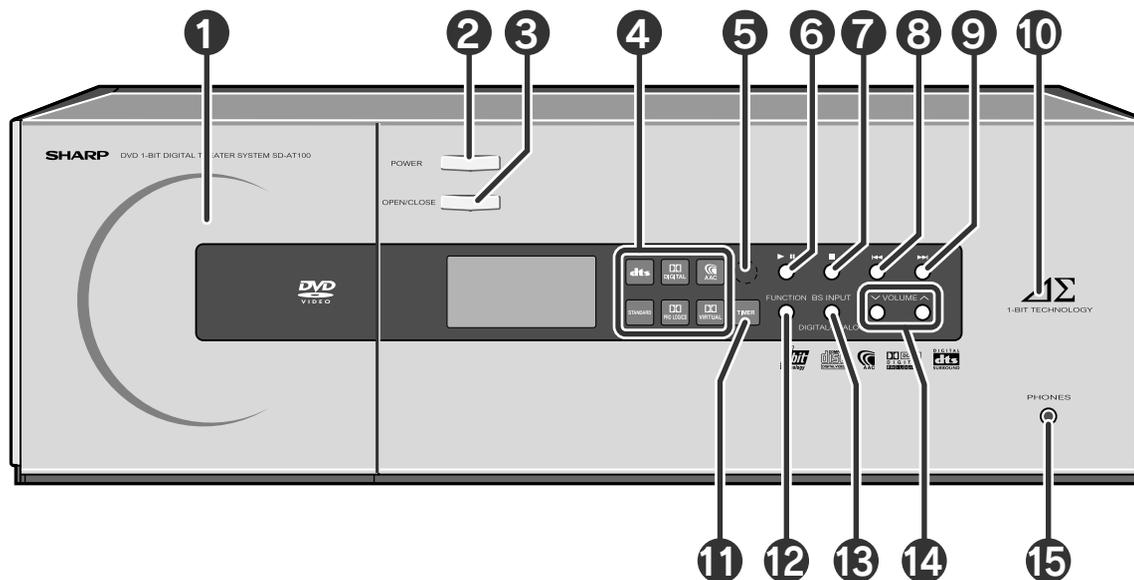
5 章
応用

DVDの初期設定を変える

各部のなまえ

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

本体（正面）



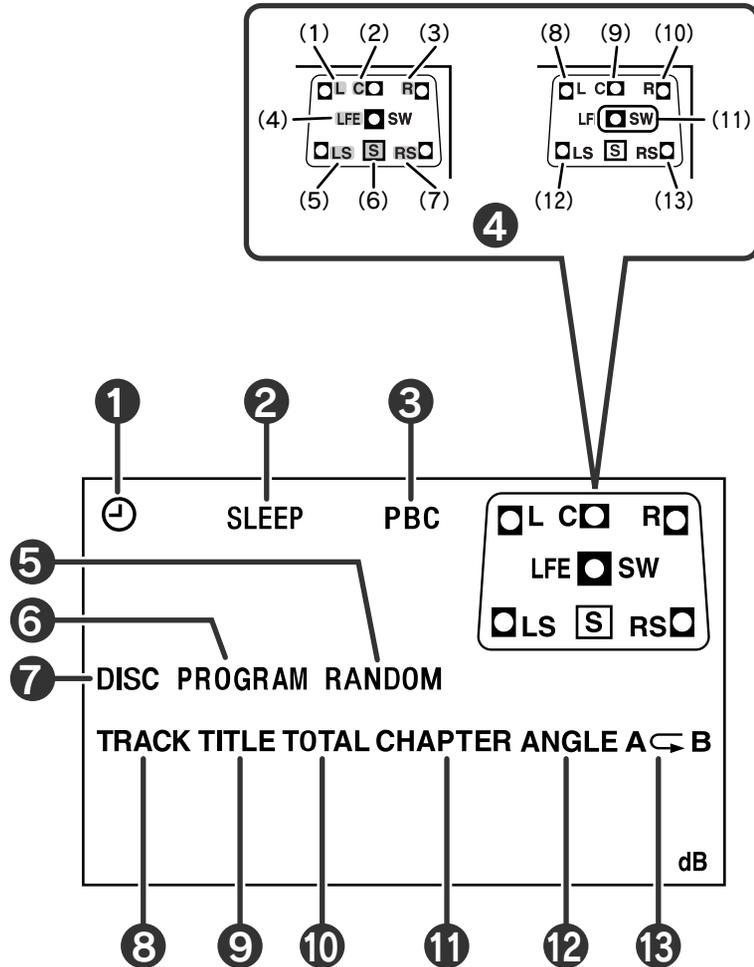
6 章 参考

各部のなまえ

	参照ページ		参照ページ
① ディスクドア	22	⑧ ディスク早戻し、頭出しボタン (◀◀)	24
② 電源ボタン (POWER)	19	⑨ ディスク早送り、頭出しボタン (▶▶)	24
③ ディスクドア開閉ボタン (OPEN/CLOSE)	22	⑩ 電源表示	19
④ サウンドモード表示ランプ (DTS/DOLBY DIGITAL/AAC/STANDARD/ DOLBY PRO LOGIC II/DOLBY VIRTUAL)	41、42	⑪ タイマー設定表示 (TIMER)	49
⑤ リモコン受信部	18	⑫ 入力切替ボタン (FUNCTION)	22
⑥ ディスク再生、一時停止ボタン (▶)	22、23	⑬ BS入力切替ボタン (BS INPUT DIGITAL/ANALOG)	57
⑦ ディスク停止ボタン (■)	23	⑭ 音量調整ボタン (∨ VOLUME ∧)	23
		⑮ ヘッドホン端子 (PHONES)	55

本体 (表示部)

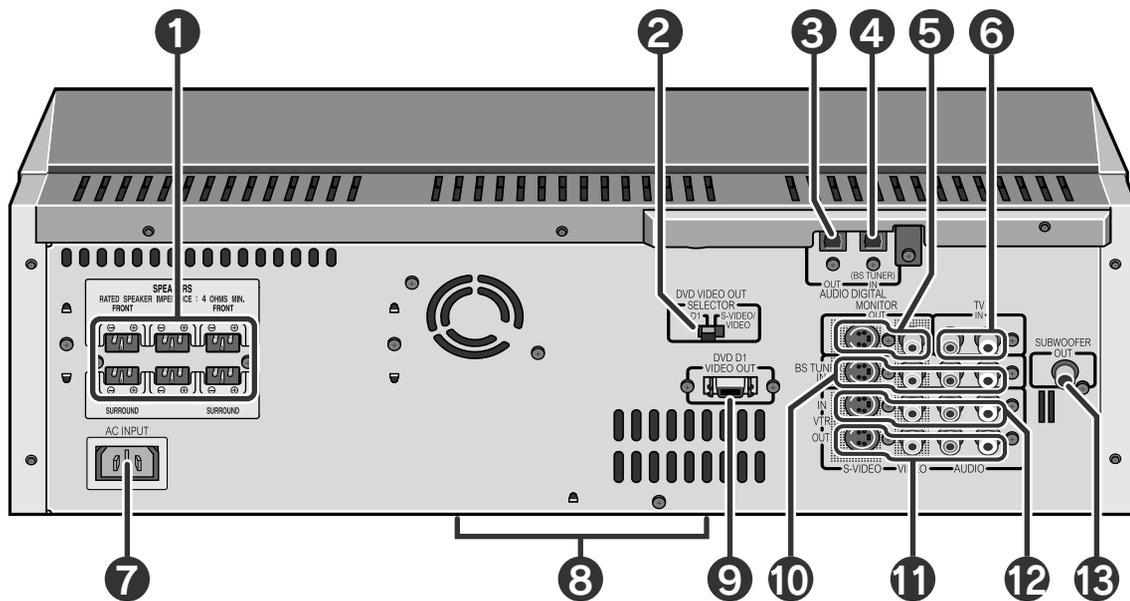
参照ページ



①	タイマー再生表示	49
②	スリープ再生表示 (SLEEP)	50
③	PBC 表示 (PBC)	37
④	音声信号表示 / スピーカー表示	42
	(1) フロント「左」信号表示	(8) フロントスピーカー「左」表示
	(2) センター信号表示	(9) センタースピーカー表示
	(3) フロント「右」信号表示	(10) フロントスピーカー「右」表示
	(4) LFE「低域効果」信号表示	(11) サブウーハー表示
	(5) サラウンド「左」信号表示	(12) サラウンドスピーカー「左」表示
	(6) サラウンド「モノラル」信号表示	(13) サラウンドスピーカー「右」表示
	(7) サラウンド「右」信号表示	
⑤	VCD/CD ランダム表示 (RANDOM)	30
⑥	プログラム表示 (PROGRAM)	28
⑦	ディスク表示 (DISC)	36
⑧	VCD/CDトラック表示 (TRACK)	36
⑨	DVDタイトル表示 (TITLE)	36
⑩	VCD/CDトータル表示 (TOTAL)	36
⑪	DVDチャプター表示 (CHAPTER)	36
⑫	DVDアングル表示 (ANGLE)	33
⑬	VCD/CDリピート、 ディスクA-Bリピート表示 (A ⇄ B)	30、31

各部のなまえ (続き)

本体 (背面)

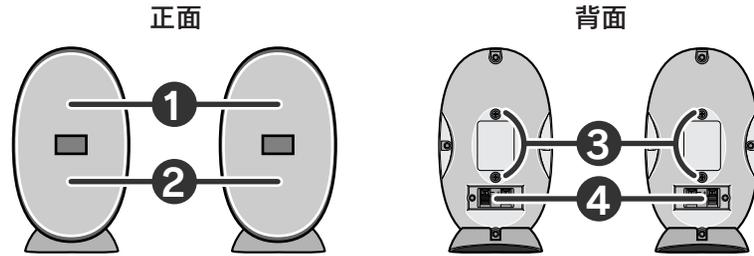


6 章
参考

各部のなまえ

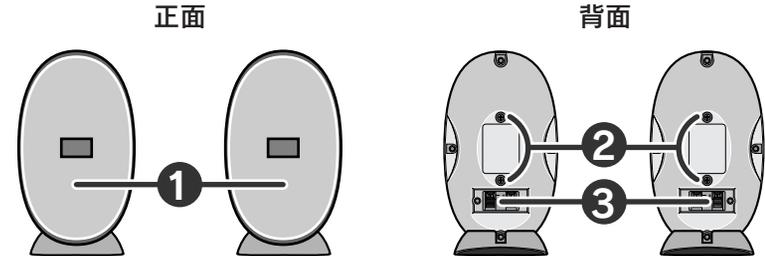
	参照ページ		参照ページ
① スピーカー端子 (SPEAKERS) <small>スピーカース</small>	12	⑦ AC 電源端子 (AC INPUT) <small>インプット</small>	17
② DVD ビデオ出力切換スイッチ (DVD VIDEO OUT SELECTOR) <small>ビデオ アウト セレクター</small>	14、15	⑧ 壁掛け用ブラケット (別売品) 取り付け穴	79
③ 光デジタル音声出力端子 (AUDIO DIGITAL OUT) <small>オーディオ デジタル アウト</small>	54	⑨ DVD D1 映像出力端子 (DVD D1 VIDEO OUT)	15
④ 光デジタル音声入力端子 (AUDIO DIGITAL IN [BS TUNER]) <small>オーディオ デジタル イン チューナー</small>	53	⑩ BS チューナー映像・音声入力端子 (BS TUNER IN) <small>チューナー イン</small>	53
⑤ 映像出力端子 (MONITOR OUT) <small>モニター アウト</small>	14	⑪ VTR 映像・音声出力端子 (VTR OUT) <small>アウト</small>	52
⑥ テレビ音声入力端子 (TV IN) <small>イン</small>	15	⑫ VTR 映像・音声入力端子 (VTR IN) <small>イン</small>	52
		⑬ サブウーハー出力端子 (SUBWOOFER OUT) <small>サブウーハー アウト</small>	55

フロントスピーカー×2 (防磁設計)



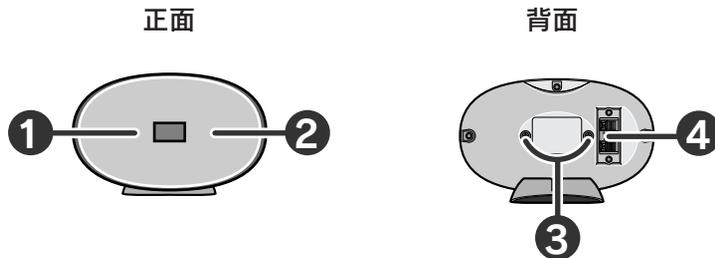
- ① ツイーター
- ② ウーハー
- ③ スタンド、壁掛け用ブラケット (別売品) 取り付け穴
- ④ スピーカー端子 (左用: 白色ラベル、右用: 赤色ラベル)

サラウンドスピーカー×2



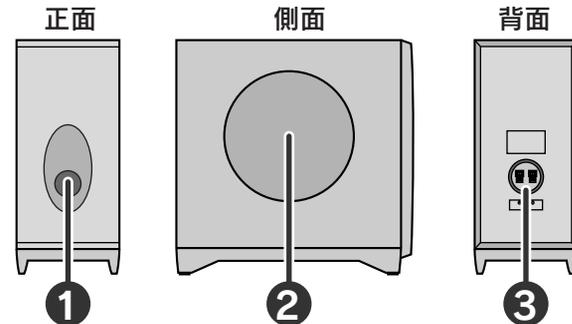
- ① ウーハー
- ② スタンド、壁掛け用ブラケット (別売品) 取り付け穴
- ③ スピーカー端子 (左用: 青色ラベル、右用: 灰色ラベル)

センタースピーカー×1 (防磁設計)



- ① ウーハー
- ② ツイーター
- ③ スタンド、壁掛け用ブラケット (別売品) 取り付け穴
- ④ スピーカー端子 (緑色ラベル)

サブウーハー×1



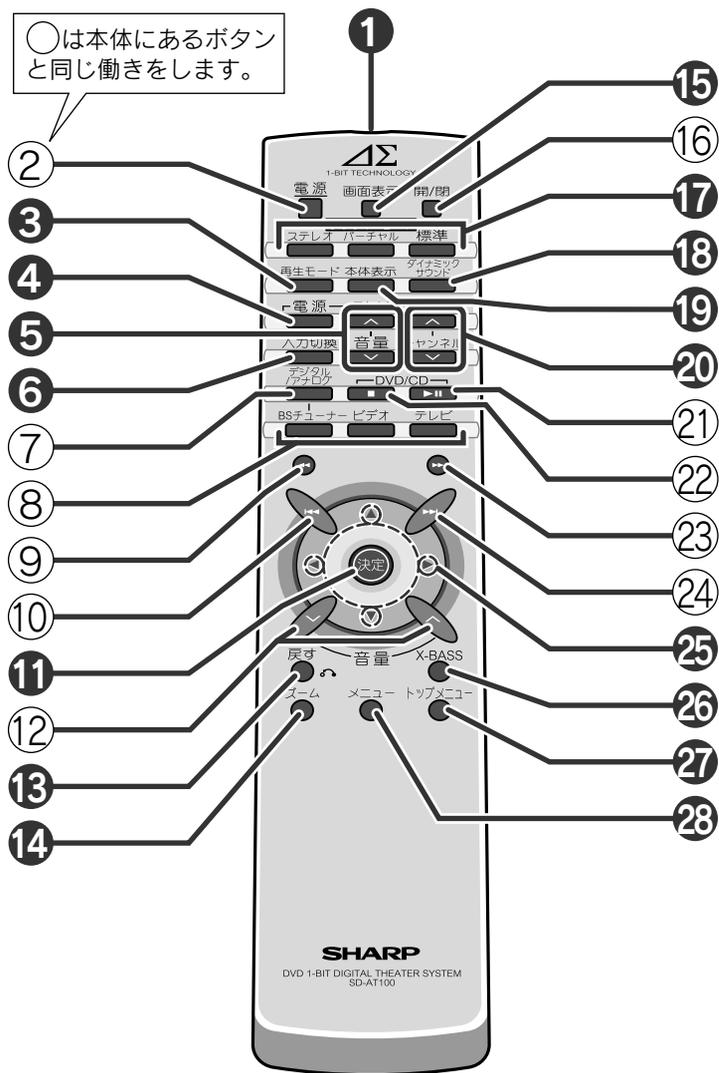
- ① バスレフダクト
- ② ウーハー
- ③ スピーカー端子 (紫色ラベル)

各部のなまえ (続き)

参照ページ

リモコン (表面)

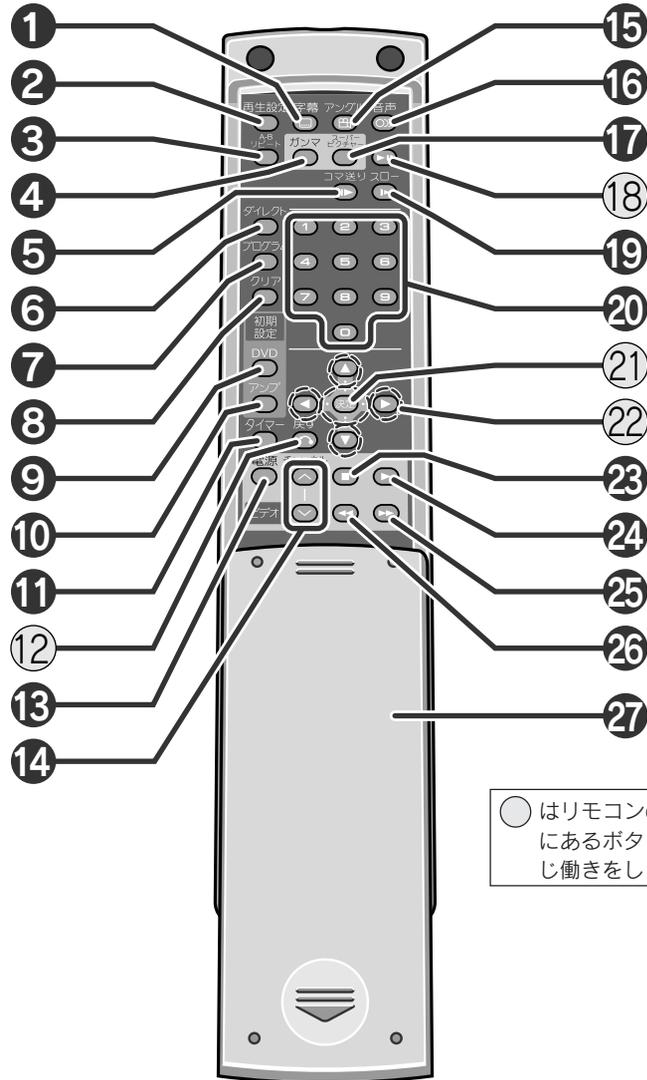
○は本体にあるボタンと同じ働きをします。



- ① リモコン送信部 18
- ② 電源ボタン 18
- ③ VCD/CD 再生モード切換ボタン 30
- ④ テレビ電源ボタン 56
- ⑤ テレビ音量調整ボタン (∨ 音量 ∨) 56
- ⑥ テレビ入力切換ボタン 56
- ⑦ BS 入力切換ボタン (デジタル/アナログ) 56
- ⑧ 入力切換ボタン (BS チューナー/ビデオ/テレビ) 56
- ⑨ ディスク早戻しボタン (◀◀) 24
- ⑩ DVD チャプター戻し、VCD/CD トラック戻しボタン (◀◀) 24
- ⑪ 決定ボタン 31、39
- ⑫ 音量調整ボタン (∨ 音量 ∨) 23
- ⑬ 戻すボタン (↶) 21
- ⑭ DVD ズームボタン 35
- ⑮ テレビ画面表示切換ボタン 36
- ⑯ ディスクドア開閉ボタン 22
- ⑰ サウンドモード切換ボタン (ステレオ/バーチャル/標準) 42
- ⑱ ダイナミックサウンド切換ボタン 43
- ⑲ 本体表示切換ボタン 19、36
- ⑳ テレビチャンネル切換ボタン (∨ チャンネル ∨) 56
- ㉑ ディスク再生、一時停止ボタン (▶▶) 23
- ㉒ ディスク停止ボタン (■) 23
- ㉓ ディスク早送りボタン (▶▶) 24
- ㉔ DVD チャプター送り、VCD/CD トラック送りボタン (▶▶) 24
- ㉕ カーソルボタン (◀、▶、▲、▼) 31、35、39
- ㉖ 重低音ボタン (X-BASS) 23
- ㉗ DVD トップメニューボタン 31
- ㉘ DVD メニューボタン 39

リモコン (裏面)

参照ページ



○ はリモコンの表面にあるボタンと同じ動きをします。

1	DVD 字幕ボタン (☐)	32
2	再生設定ボタン	38
3	ディスク A-B リピートボタン	31
4	DVD/VCD ガンマ補正ボタン	34
5	DVD/VCD コマ送りボタン (II▶)	25
6	ダイレクトボタン	26、27
7	プログラムボタン	28、29
8	クリアボタン	28、29
9	DVD 初期設定ボタン	60
10	アンプ初期設定ボタン	44～47
11	タイマーボタン	48～51
12	戻すボタン (↶)	21
13	ビデオ電源ボタン	56
14	ビデオチャンネル切換ボタン (∨チャンネルへ)	56
15	DVD アングルボタン (⊞)	33
16	DVD 音声切換ボタン (∞)	33
17	DVD/VCD スーパーピクチャーボタン	34
18	ディスク再生、一時停止ボタン (▶II)	22、23
19	DVD/VCD スロー再生ボタン (II▶)	25
20	数字入力ボタン (0～9)	28、29
21	決定ボタン	20
22	カーソルボタン (◀、▶、▲、▼)	38、60
23	ビデオ停止ボタン (■)	56
24	ビデオ再生ボタン (▶)	56
25	ビデオ早送りボタン (▶▶)	56
26	ビデオ巻戻しボタン (◀◀)	56
27	スライドブタ	19

ディスクの取り扱いについて

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

■ディスクについて

ディスクの再生面は？

印刷のある面の反対の面です。再生面に触れないでください。

ディスクを持つときは？

必ずふちを持ってください。



再生面のホコリやキズ、変形などは、雑音や動作不良の原因となることがあります。

ケースからの出し入れは？

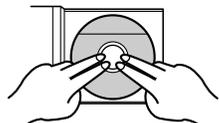
出すとき

センターホルダーを押さえ、再生面に触れないように持って出します。



入れるとき

文字のある面を上にして、上から押さえて入れます。



■保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れ、立てて保管してください。

次のような所に置かないでください。

- ・直射日光が長時間あたる場所。(特に密閉した自動車内等)
- ・温度の高い所や湿度の高い所。
- ・専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。(海辺や砂地等)

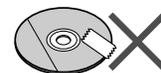
■取り扱い上のご注意

印刷面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。再生面にも影響をおよぼし、動作不良の原因となります。



ラベルやシールを貼らないでください。

セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。



そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。

特殊形状(ハート型や八角形など)のディスクは、使用しないでください。



故障の原因となることがあります。

■ディスクのお手入れについて

ディスクに汚れやキズがあると、映像や音声が悪くなる場合があります。ディスクを取り出し、汚れを落としてから、再生してください。

- ・再生面に指紋や汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽くふき取り、乾いた布で拭き取ってください。
- ・ふちから中央の方向にふいたり、回転方向に回しながらふくとキズがつくことがあります。



次のものは使用しないでください。

- ・ベンジンやアルコールなどの溶剤
- ・研磨剤を含むクリーナー
- ・レコード用のクリーナー
- ・静電防止剤

エラーメッセージについて

再生できないディスクを入れたときや操作を誤ったときなどに、本体表示部やテレビ画面に次のような表示がでます。

本体表示	エラーの内容
NO DISC	・ディスクが入っていない。 ・ディスクにキズや汚れがあり、認識できない。 ・ディスクの裏表を逆に入れた。
NO PLAY	・ディスクにキズや汚れがあり、再生できない。 ・規格外のディスクを入れた。
READ Err	・ディスクにキズや汚れがあり、データが読めない。 ・規格外のディスクを入れた。
Er-CD01	・光ピックアップの位置が確認できない。 電源を入れ直してみる。(※)
Er-CD30	・DVD メカニズムの異常と判断した。 近くにノイズを発生するものがあれば本体から離したり、電源プラグの差し込み位置を変えてみる。(※)
DSP NG	・テレビ画面の動作不良。 近くにノイズを発生するものがあれば本体から離したり、電源プラグの差し込み位置を変えてみる。(※)
NoSignal	・光デジタル音声入力端子の接続不良。 ・規格外の信号で認識することができない。
TEMP	・温度が高くなりすぎた。 電源を切ってしばらく置いておく。
Er-AP02	・スピーカーの接続不良。 ・アンプの異常と判断した。 電源を入れ直してみる。(※)
Er-AP03	・アンプの異常と判断した。 電源を入れ直してみる。(※)

本体表示	エラーの内容
Er-AP14	・アンプの異常と判断した。 近くにノイズを発生するものがあれば本体から離したり、電源プラグの差し込み位置を変えてみる。(※)
FAN LOCK	・本体背面の空冷ファンに異物がはさまり回らない。 電源を切って、空冷ファン周辺の異物を取り除いてください。

(※) 電源プラグを差し込み直したり、電源を入れ直しても、同じ表示がでるときは、82ページの「保証とアフターサービス」をごらんの上、修理を依頼してください。

テレビ画面表示	エラーの内容
⓪ このディスクは再生できません	本機で再生できないディスクを入れたり、裏表を逆に入れたとき。
地域番号が違います	リージョン番号が「2」「ALL」以外のDVDを入れたとき。
ディスクを入れてください	ディスクが入っていないとき。
⓪ この操作はできません	・誤った操作をしたとき。 ・操作を禁止されている場面で操作したとき。
⓪ ディスクでこの操作は禁止されています	本書に記載されている操作を、ディスク側で禁止しているとき。

“故障かな？”と思ったら

次のようなときは故障ではないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、82ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

■ 共通

(参照ページ)

スピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> → 音量が「0」になっていませんか。 P.23 → ヘッドホンをつないでいませんか。 P.55 → スピーカーは正しく接続されていますか。 P.12 → スピーカーサイズの設定でNO(切)を選んでいませんか。 P.44
スピーカーの音にばらつきがある	<ul style="list-style-type: none"> → スピーカーコードの⊕、⊖をまちがえていませんか。 P.13 → 各スピーカーをお聞きの位置から等距離に設置していますか。 P.16 → スピーカーレベルが合っていますか。 P.46
再生中に雑音が出る	→ パソコン・携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。 —
ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった	→ 一度、電源を切り、操作をやり直してください。それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。 P.76
テレビの映像に乱れが生じる	→ 室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていると、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。このようなときは、屋外アンテナの使用をおすすめします。 —
テレビの設定画面が英語で表示される	→ 画面表示言語設定が「ENGLISH」に設定されています。 <small>イングリッシュ</small> P.60

(参照ページ)

タイマー再生が動作しない	→ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。時計を合わせ直してください。 P.20
本体の表示部が暗い	→ リモコンの本体表示ボタンを2秒以上押し、 <small>タイマー</small> 「DIMM OFF」を選んでください。 <small>オフ</small> P.19
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> → 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 P.17 → 保護回路が働いていることがあります。電源プラグを一度コンセントから抜いて、再び差し込んでください。 P.13
ドルビーデジタル(5.1ch)の音声にならない	→ 初期設定画面の「音声出力設定」が「D-PCM」になっていませんか。 <small>ビットストリーム</small> 「BITSTREAM」に設定してください。 P.61
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> → テレビの電源は入っていますか。 P.56 → テレビの入力を切り換えていますか。 P.56 → DVDビデオ出力切換スイッチを接続した端子側に切り換えていますか。 P.14

■ リモコンの操作

(参照ページ)

リモコンで操作できない	→ 乾電池の ⊕、⊖ の向きが逆になっていませんか。	P.18
または、正しい動作をしない	→ 乾電池が消耗していませんか。 → リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に正しく向けていますか。 → リモコン受信部と距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。 → 本体の前に障害物はありませんか。 → リモコン受信部に強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)があたっていませんか。 → 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。 → リモコン表面、裏面のボタンを同時に押していませんか。	P.18 P.18 P.18 P.18 P.18
リモコンで電源が入らない	→ 電源コードはつながっていますか。 → 乾電池は入っていますか。	P.17 P.18

■ ディスクの操作

(参照ページ)

ディスクを入れても「NO DISC」や「NO PLAY」が表示される	→ ディスクの裏表をまちがえていませんか。 → 汚れやキズがありませんか。 → 規格外のディスクを使用していませんか。 → 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。 → つゆつき現象が起きていませんか。	— — — — P.76
再生音がとぎれる		
ディスクを入れても曲数などが表示されない	→ 入力が「DVD」以外になっていませんか。	P.22

(参照ページ)

操作ボタンを押しても動作をしない	→ ディスクに汚れやキズがありませんか。 → 規格外のディスクを使用していませんか。 → 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。 → つゆつき現象が起きていませんか。	— — — P.76
映像や曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる		
映像や再生音がとぎれる	→ ディスクに汚れやキズがありませんか。 → 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。 → つゆつき現象が起きていませんか。	— — P.76
電源が入っているのに動かない	→ DVD (リージョン番号2、ALL)、ビデオCD、音楽CD以外のもが入っていませんか。	P.10～11
再生画像が出ない(音が出ない)	→ 映像・音声コードが正しく接続されていますか。 → DVD (リージョン番号2、ALL)、ビデオCD、音楽CD以外のもが入っていませんか。 → ディスクが汚れていませんか。ディスクにキズがありませんか。 → ディスクの表裏をまちがえていませんか。 → 光ピックアップが汚れていませんか。光ピックアップのお手入れをしてください。 → テレビの入力切替が「ビデオ1・ビデオ2」などになっていますか。 → 本機の電源は入っていますか。	P.14～15 P.10～11 P.72 P.72 P.77 P.56～57 P.19

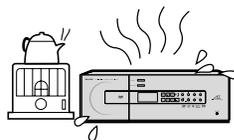
6 章 参考

故障かな?と思ったら

■ つゆつき現象について

次のようなときには、内部の光ピックアップやディスクにつゆ（水滴）がつくことがあります。

- ・暖房をつけた直後。
- ・湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- ・冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。



つゆがつくと……ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆを取るには…ディスクを取り出して電源を入れておけば、約1時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

■ 製品の移動について

製品を移動する場合には次のことを行ってください。

- ① 電源を入れる。
- ② ディスクドアを開けディスクを取り出す。
- ③ ディスクドアを閉め、電源を切る。
- ④ 電源表示ランプが消えたら、電源コードを抜く。

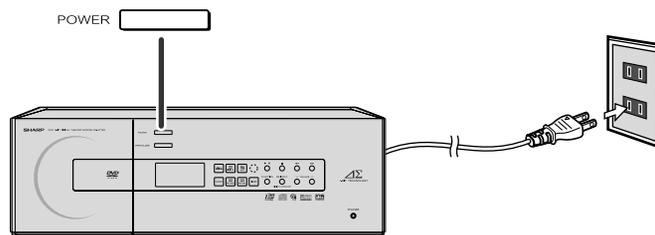
■ 異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

リセット操作

- ① 電源コードをコンセントから抜きます。
- ② POWER  を押したまま、電源コードを差し込みます。
このとき電源は入りません。
- ③ もう一度 POWER  を押し、電源を入れてください。



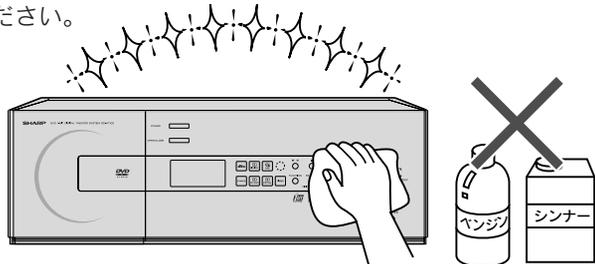
ご注意
リセット操作をすると、登録した内容は消え、各種の設定はお買いあげ時の状態に戻ります。

お手入れについて

■本体のお手入れ

やわらかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



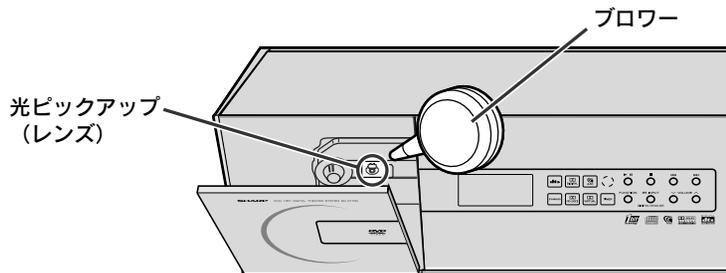
ご注意

ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
変質したり、塗料がはげることがあります。

■光ピックアップのお手入れ

光ピックアップ（レンズ）にホコリや汚れがつくと、音とびを起こしたり、画面が出ないなど正しく動作をしないことがあります。

ホコリがついたときは、市販のカメラレンズ清掃用のブローアなどで清掃してください。



お知らせ

- ・光ピックアップは手でさわらないように気をつけてください。
- ・使わないときはディスクドアを閉じておいてください。
- ・光ピックアップにキズをつけないように気をつけてください。

著作権について

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

- ・ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- ・ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。
- ・本機は、マクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、同社の認可がない限りは一般家庭および特定の視聴用に制限されています。解析（リバースエンジニアリング）または改造は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992 - 1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。
「DTS」、 「ES」 及び 「DTS Digital Surround」 は Digital Theater Systems, Inc. の商標です。

AAC は正式名称を MPEG-2 Advanced Audio Coding といい、MPEG-2 仕様の一部として標準化された音声圧縮技術です。
以下が米国パテントナンバーです。

08/937,950	5 297 236	5,481,614	5,490,170
5848391	4,914,701	5,592,584	5,264,846
5,291,557	5,235,671	5,781,888	5,268,685
5,451,954	07/640,550	08/039,478	5,375,189
5 400 433	5,579,430	08/211,547	5,581,654
5,222,189	08/678,666	5,703,999	05-183,988
5,357,594	98/03037	08/557,046	5,548,574
5 752 225	97/02875	08/894,844	08/506,729
5,394,473	97/02874	5,299,238	08/576,495
5,583,962	98/03036	5,299,239	5,717,821
5,274,740	5,227,788	5,299,240	08/392,756
5,633,981	5,285,498	5,197,087	

6 章 参考

著作権について お手入れについて

別売品について

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

この製品を正しく動作させるために、別売品は指定のものをお使いください。

● センタースピーカー

形式	2ウェイ、8cm ウーハー、4cm ツイーター [防磁設計(EIAJ)]
最大入力	50W
インピーダンス	4 Ω
最大外形寸法	185mm (幅) × 125mm (高さ) × 134mm (奥行) (EIAJ)
質量	約 1kg

● サラウンドスピーカー

形式	1ウェイ、8cm ウーハー
最大入力	50W
インピーダンス	4 Ω
最大外形寸法	110mm (幅) × 195mm (高さ) × 134mm (奥行) (EIAJ)
質量	約 0.8kg × 2

● サブウーハー

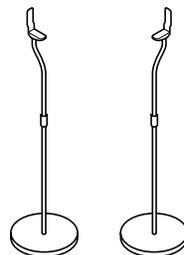
形式	バスレフ型、16cm ウーハー
最大入力	50W
インピーダンス	4 Ω
最大外形寸法	164mm (幅) × 360mm (高さ) × 371mm (奥行) (EIAJ)
質量	約 4.9kg

本製品は、家庭用・汎用品電源高調波抑制ガイドライン*に適合しています。

* 電力供給設備等に影響を与えない為の機器電流波形歪み基準

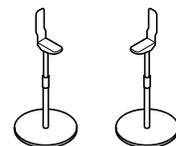
フロアー型スピーカースタンド

形名：AD-AT10ST



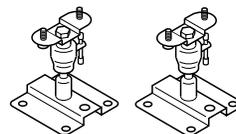
テーブル型スピーカースタンド

形名：AD-AT10LS



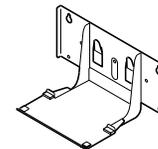
壁掛け用スピーカーブラケット

形名：AD-AT10SA



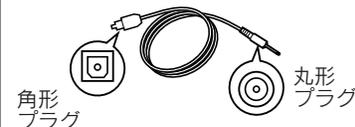
壁掛け用本体ブラケット

形名：AD-AT10WA



光デジタルケーブル

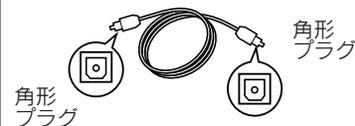
形名：AD-M1DC



コードの長さ：約 1m

光デジタルケーブル

形名：AD-M3DC



コードの長さ：約 1m

別売品の形状はイラストと異なることがあります。

6 章 参考

別売品について

用語の解説

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

AAC

BS デジタル放送に採用されているデジタル音声システムです。

DTS

劇場向けデジタル音声システムの1つです。音質を重視しているため、リアルな音響効果が得られ、本格的なホームシアターシステムが楽しめます。

4:3 LB (レターボックス)

ワイド画像(16:9記録)のディスクを再生したとき、画像の上下に黒い帯を入れて、4:3のサイズで映像を出力します。ワイド画像(16:9記録)の全体を楽しむことができます。

4:3 PS (パンスキャン)

ワイド画像(16:9記録)のディスクを再生したとき、画像の左右をカット(パンスキャン)して、4:3のサイズで映像を出力します。違和感の少ない画像を楽しむことができます。

視聴制限(パレンタルレベル)

DVDの中には、視聴者の年齢に合わせて、ディスクを見るための制限をしているものがあります。

ズーム

テレビ画面で見ている画像を、拡大表示する機能です。

タイトル

例えば複数の映画が入っているディスクで各映画ごとをさします。

チャプター

「タイトル」をさらに細かく分けたものです。

ディスクメニュー

DVDに記録されているディスクのメニューで、字幕の言語や音声言語、ドルビーデジタル(5.1ch)/DTS音声などを選ぶことができます。

ガンマ

暗部の階調を補正し、画像を明るくする機能です。

スーパーピクチャー

画質を鮮明にする機能です。

トップメニュー

DVDに記録されているディスクのトップメニューで、再生するタイトルを選ぶことができます。

トラック

例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。

ドルビーデジタル

劇場向けデジタル音声システムの1つです。立体的な音響効果が得られ、本格的なホームシアターシステムが楽しめます。

ドルビープロロジックII

ステレオ音声で録音されているディスクやビデオテープなどを再生すると、ドルビープロロジックII機能により自動的に判断し、5.1chのデジタルサラウンド音声に変換します。自然な音響効果が得られます。

バーチャル

サラウンドスピーカーからは音は出ませんが、サラウンドスピーカーがあるような音響効果が楽しめます。

光ピックアップ

ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCDの再生方式の一つで、再生するときに画面に表示される情報を選ぶことができる機能です。

アングル

DVDにアングルが記録されていると、1つの場面をいろいろな角度で見ることができます。

リージョン番号 (再生可能地域番号)

DVDは、販売される国により、再生できるディスクが決められています。その再生できるディスクの番号を、リージョン番号といいます。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

保証書 (別添)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このDVD1ビットデジタルシアターシステムの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口 (83ページ) にお問い合わせください。

愛情点検



このような
症状は
ありませんか?

長年ご使用の機器の点検を!

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「“故障かな?” と思ったら」 (74~76ページ) を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■ご連絡していただきたい内容

品名 : DVD1ビットデジタルシアターシステム
 形名 : SD-AT100
 お買いあげ日 (年月日)
 故障の状況 (できるだけ具体的に)
 ご住所 (付近の目印も合わせてお知らせください。)

お名前
 電話番号
 ご訪問希望日

- 便利メモ お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年月日	電話 () -

■保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お客様ご相談窓口のご案内

DVD 1-BIT DIGITAL THEATER SYSTEM SD-AT100

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談 ならびに
ご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、
下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品の
ご購入に関するご相談は・・・ **修理相談センター** へ

● 製品のお取扱い方法、
その他ご不明な点は・・・ **お客様相談センター** へ

お客様相談センター

- 受付時間 * 月曜～土曜：午前 9 時～午後 6 時
* 日曜・祝日：午前 10 時～午後 5 時 (年末年始を除く)

東日本相談室	TEL 043-297-4649	FAX 043-299-8280
	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL 06-6621-4649	FAX 06-6792-5993
	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修理相談センター

- 修理相談センター (沖縄・奄美地区を除く)
■ 受付時間 * 月曜～土曜：午前 9 時～午後 6 時
* 日曜・祝日：午前 10 時～午後 5 時 (年末年始を除く)



0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。
(注) 携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話/PHSでのご利用は・・・	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
○ FAXを送信される場合は・・・	(FAX)	043-299-3865	06-6792-3221

- 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

- ◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にも承っております。

- 受付時間 * 月曜～土曜：午前 9 時～午後 5 時 30 分 (祝日など弊社休日を除く)
〔但し、沖縄・奄美地区〕は・・・
* 月曜～金曜：午前 9 時～午後 5 時 30 分 (祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたま サービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京 サービスセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稲台295-1
東海地区	横浜 サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
	静岡 サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
北陸地区	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
	金沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽富田町48
	大阪 サービスセンター	06-6794-3983	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸 サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美	那覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

6 章

参考

お客様
ご相談窓口のご案内

イサーフ株式会社

本	社	〒545-8522	大阪市阿倍野区长池町22番22号 電話 (06) 6621-1221 (大代表)
AVシステム事業本部		〒739-0192	東広島市八本松飯田2丁目13番1号 電話 (0824) 28-2401 (大代表)